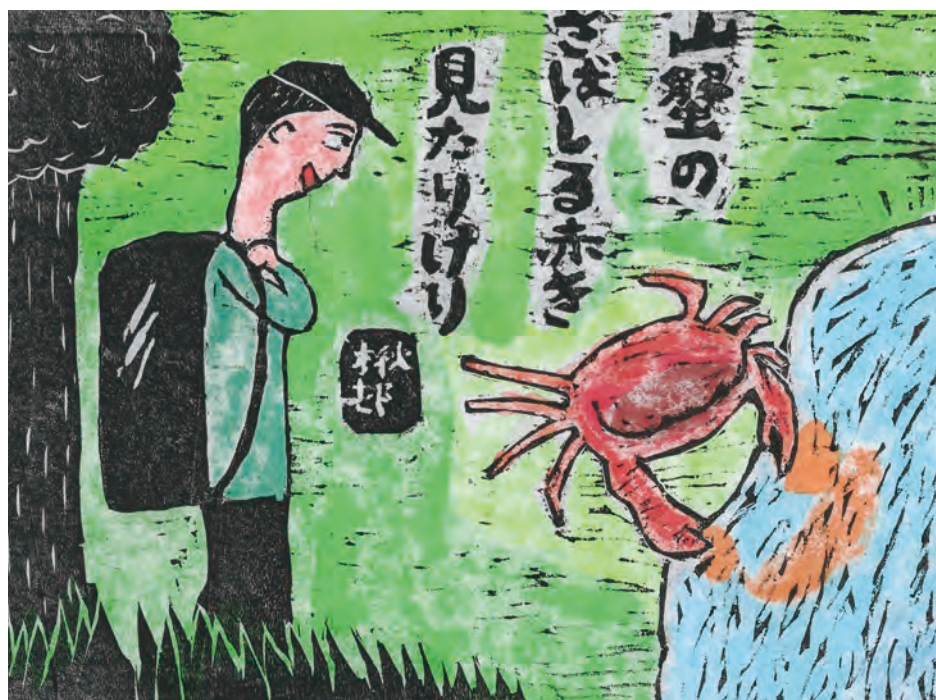


金光学園

# やっなみ

2021.7





# 高校入学式

# 中学入学式





# 中学義務教育修了式

令和3年3月18日、義務教育修了式が行われた。式の中では中野結さんが中学3年間で振り返り、仲間への感謝の気持ちを述べた。修了式の後の「あしあと」では今までの写真をプロジェクトで映し出し、学年団教員のナレーションで3年間で振り返った。大山登山や1日旅行で詠んだ俳句や、中学3年間で振り返り詠んだ短歌も紹介され、時には笑いや拍手がおきる場面もあった。その後、スライドショーによる3年生全員の出し物を行った。スライドでは、感謝を伝えたい相手へそれぞれの思いをメッセージカードにかき、一人ずつの写真を映し出した。家族や友達、先生へ向けたメッセージなど、中学校生活で感じた思いを伝えることが出来た。昨年に続き、今年も例年通りの「ゆずり葉の会」を行うことは出来なかったが、心のこもった修了式となった。



## カープ家族の風景

大目 憲正

サンボマスターの「できっこないをやらなくちゃ」という曲をご存じでしょうか。侍ジャパン代表にも選ばれている広島カープの主砲、鈴木誠也がマツダスタジアムで打席に立つ際に流れる曲です。この曲の中に、グッと胸にくる歌詞があります。

「あきらめないでどんな時も 君ならできるんだどんなことも」

私も日常で、こんなプラスのストロークワードを子どもに伝えたくても、口から出てくる言葉がかみ合っていないことがたくさんあります。

コロナ元年の2020年、私の子どもは地元小学校を卒業し、金光学園中学校に入學しました。家族にとって初めての受験を経て、初めての私立への進学でした。新学期早々、緊急事態宣言で学校に行けない期間に入りました。本来なら新しい友達をたくさん作って、大好きなクラブ活動で汗を流しているはず。親としても少し責任を感じていたことを覚えています。

その後通学ができるようになり、子どもとの会話の中で出てくる友達の名前や学校の様子に、私は不思議な安堵感を覚えていました。ほつま祭、中学体育会、開催自体をあまり期待してなかったのですが、子どもの学園生活を垣間見られたことは大変嬉しいことでした。

今考えれば、早い段階でのオンライン授業導入や、感染予防対策を講じながらの各行事の開催など、学園の先生方のご苦労やご負担は相当なものであったと想像します。生徒のことを思い、「できっこない」に立ち向かっていただいたおかげだと深く感謝しています。

学園生活2年目を迎えた我が子は、順調にたくましく、生意気になってくれています。成長期でもある学生生活の中で普通ではない時間を体験したことは、子どもにとって決してマイナスだったとは思いません。取り巻く社会や周りの人々がこの一年乗り越えようとした様子は、子どもがハードルを越える未来の原動力につながると信じています。

今日も朝から「早く起きろー」「遅刻すんなよー」「ちゃんと勉強しろよー」と親からのマイナスストロークを浴びながら息子は駅に向かいました。親としても、そろそろ「言えっこないを言わなくちゃ」

(金光学園やつなみ保護者会副会長)

## 目次

巻頭言……………	1
金光学園 中学・高等学校入学式……………	2
道(29)……………	12
活躍する卒業生…………… 赤澤 和哉	14
自画像……………	16
会報……………	17
会長就任挨拶……………	18
友愛セールご協力のお願い……………	19
法人決算の概要……………	20
中学生になって……………	24
中1入校時レクスタ……………	26
A F S 留学生紹介……………	29
高3人権講演……………	30
表紙の言葉……………	33
オーブンスクール……………	34
令和3年度大学入試結果……………	36
生徒会活動……………	37
学園だより……………	41
教室の窓から…………… 編集後記	44

# 金光学園 中学・高等学校 入学式

4月8日、入学式が挙行された。中学は午前9時から145名が、高校は午後1時30分から160名が、保護者・教職員の祝福を受けて新たな出発をした。

国歌静聴、校長式辞の後、中学は平井愛佳さんが、高校は山口奈津美さんがそれぞれ「願いの言葉」を力強く述べた。続いて学校法人理事長の挨拶（田淵美賀雄 常務理事代読）、金光教本部から中学は岩崎道與教務総長、高校は教務総長のご代理 山本正三総務部長の祝辞があり、次に保護者を代表して中学は長谷川絢の氏、高校は廣末充浩氏の挨拶があった。終わりに、中学は学園歌紹介、高校は学園歌静聴で式の最後が締めくくられた。

## 式辞

校長 金光 道晴



今年には桜の開花が観測史上最も早くかつたと伝えられていました。昨年一昨年も、桜が満開の中での入学式でありましたが、今年には既に満開を過ぎ、新緑の葉桜が芽吹く中での入学式となりました。昨年来続いている新型コロナウイルス感染症に関しても、第4波の到来や変異ウイルスの感染拡大など、なお心配が続い

ている中ですが、今日の穏やかな春の良き日に、145名の新入生とその保護者の方をお迎えしてこのように麗しく入学式を挙行できますことは大変嬉しく有り難いことであります。

保護者の皆様には本日は誠におめでとうございます。皆様には入学式後の説明会で改めてご挨拶をさせていただきます。さて新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

皆さんは、今日から金光学園の中学生としての生活のスタートを切るわけであります。今新入生の皆さんは、これから始まる6年間の学園生活に大きな期待や夢を抱いていることと思います。

私達もそんな皆さんの入学を心から歓迎し、ここからの成長を保護者の方々と共にしっかりと応援し、支援していきたい

と思っています。

しかし先程も申しましたように、昨年からもう1年以上も、日本でも、世界でも、新型コロナウイルス感染症収束が見通せない状況が続いています。

皆さんにとっても、この1年間は、小学校6年生としての最後の大切な1年でしたが、突然学校が休みになったり、運動会や発表会などもできなかつたりしたのではないのでしょうか。とりわけ一番楽しみにしていた修学旅行にも行けなかつた人がほとんどだったと思います。

金光学園でも体育会や文化祭は、感染対策に努め、色々な制限や制約の中で実施できましたが、修学旅行は中学も高校も実施できませんでしたし、部活動の大会や発表会などは中高ともに中止になったものが多く、生徒達も辛く残念な思いをすることが多かったのではないかと。

私はこの間、生徒達に何度も、金光教の教えの中にある「難はみかけ」という言葉について話してきました。

「苦難をおかけに」「困難をプラスに」という意味ですが、「どんなトンネルでも必ず出口はある。真っ暗な中でも必ず光を見つけることができるはず」「苦難

は単にマイナスを意味するだけではなく、苦難の中に喜びを見出すことができるはず」として、困難をプラスに変えて前向きに頑張っていきたいと思います。

そんな中、先日の日曜日の事ですが、テレビを見ていて涙が溢れるほどの感動する出来事がありました。きっと皆さんも見られた方は同じだったと思います。

水泳の日本選手権のバタフライ100M決勝で池江璃花子選手が、あの白血病の苦難を乗り越えて優勝を果たし、オリンピック出場に内定し、涙ながらインタビューに答えていたのです。本当に嬉しかったし、感動しました。今日は100M自由形決勝があるようですが、しっかりと応援したいと思います。

私は白血病に関しては特別な思いがよみがえります。皆さんの教室に掲げられている「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」の額にまつわることなのですが、実は私が学年主任をしていた創立100年のときの高校3年生であったK君という生徒が卒業前に白血病を発症し、病に倒れ1年半後、19歳という若さで亡くなってしまったのであります。

ご両親は、悲しみの中に息子が大好きだった学園にその思いを残したいと言われ、作ってくださったものが、この合言葉の額で、全教室に掲げられています。

池江璃花子選手と同じ18歳という年に同じ白血病という病気になる、帰らぬ人となったK君のことと重なってしまうようなことでしたが、それだけに池江選手が、とても再起は難しいと思われた大変な苦難を乗り越えて頑張ったことに、心から喜び、心から感動したのであります。まさに池江選手は「難をみかけに」されたのであります。

皆さんにとってもこの1年余りは大変な事だったと思いますが、「難をみかけに」にできたことは沢山あったのではないのでしょうか。

金光学園では、昨年の長期間にわたる学校休校というこれまで例のない難儀な状況の中だからこそ、いち早くリアルタイムのオンライン授業に取り組む事ができ、授業も遅れることなく実施できたのもその一例です。

皆さんの1年上の先輩である、去年の新入生は入学した直後のことでしたが、授業だけではなく、HRや面談なども担



任の先生とオンラインで行うなど、休校期間中も学校や授業に慣れてもらうことができました。コロナ禍という難儀の中だからこそ「難をみかけ」にし、いち早く取り組めたと思っています。

さて、今日からの皆さんの学園生活も最初は慣れないことが沢山あると思います。例えば通学です。学校の近くから歩いて通学できる人もいますが、多くの人は電車やバスや自転車を使つての通学になり、慣れるまでは大変だと思います。

皆さんの中には、同じ小学校から入学した人もいるかもしれませんが、ほとんどの人は初めて出会う人達だと思えます。知らない友達や先生ばかりで、不安や心配な気持ちになったりするかもしれません。でも、前向きに考え、新しい友達ができることを楽しみにして欲しいと思います。是非困難なことや心配なことでも前向きに受け止めて頑張ってください。



て欲しいと思います。

もちろん、楽しみな事も沢山あると思います。学園では沢山の文化部や運動部が活発に活動しています。もう既にどの部に入るかを決め、楽しみにしている人もいるかもしれません。色々な学校行事も楽しみます。

慣れるまでに少し大変なこともあるかと思いますが、楽しいことやチャレンジできることが一杯ありますから、早く学校に慣れ、新しい友達をつくり、しっかりと勉強や部活動に取り組んで欲しいと思います。そして様々な体験を通して、これからの中学・高校の6年間で大きく成長していただきたいと思います。

ところで、この入学式の後のホームルームで、皆さんには全光教の教祖様のみ教えが書かれています、このような日めくりを記念としてお渡ししますが、今日の8日には「食物はみな人の命のために天地の神のつくりあたまえ給うものぞ」という言葉が書かれています。

この言葉には「何を飲むにも食べるにも有難いいたたく心を忘れなよ」という言葉が続くのですが、食前訓といって金



光学園では食事の前に唱える言葉でもあります。皆さんも今後クラスで一緒に弁当を食べる時や、合宿などの食事の時には唱えることとなります。

毎日の生活の中では、当たり前のように食事がいだけることも水が飲めることにも感謝の気持ちを忘れてはいけません。そして「食べ物や飲み物は人の命を育んでいるもので、神様から与えられた天地の恵みであり大切なもの」であることが示されています。明日の9日の日は、「人の身が大事かわが身が大事か 人もわが身もみな人」という言葉です。「人の身もわが身もみな同じ尊い人間で、かけがえのないもの」

## 法人理事長挨拶

和泉 正一  
(田淵美賀雄 常務理事代読)



この合言葉は、生徒の皆さんだけに守ってもらおうというものではありません。生徒も保護者の方も私たち教職員も卒業生も全ての金光学園に関係する人、つまり仲間が行動の目標や目当てとするもので、みんなで努力しあっていこうという願いなのであります。

皆さんは、これから卒業するまでに、何回も耳にするでしょうが、どうぞこれから6年間かけて合言葉の中身をしっかりと身につけていただきたいと思っております。

そして、人を大切にできる人・自分を大切にできる人・物を大切にできる人になっていただきたいと願っております。終わりにもう一度合言葉を申し上げてお辞儀いたします。

「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」

また、金光教務総長におかれましては、日頃から金光学園に変わりなく温かいご理解とご支援を賜っておりますこと、誠に有り難いことに存じ、厚く御礼申し上げます。

上げます。

今年は、昨年来の新型コロナウイルス感染症の蔓延が収まらず、異例の入学式となりましたが、感染症の速やかなる終息と罹患された人々の一刻も早い快復、更には亡くなられた方々の御霊の道立を、共々にお祈り申し上げたいと思っております。

さて、わが金光学園では、「真に世のお役に立つ人材の育成」を建学の精神として、「学・徳・体一本の全人教育」に取り組んでおります。「学」とは学問の学、「徳」とは人間として尊い行いを為す品性、「体」とはからだということ。「人間として尊い行いを為す」ということは、国家民族や老若男女にこだわらずに、人間として尊い行いを実践するということで、学問を身につけ、体を鍛えて、社会に貢献できる人間にならせていただくために、「学・徳・体一本の全人教育」を目指しているのです。

社会に貢献するというとき、最も小さな社会は家族でありましょう。また最も大きな社会は世界・人類でありましょう。家族に貢献する、あるいは世界・人類に貢献する。そのために「学・徳・体」を身につけるといふことです。

そして、それを身につけるための日々の実践として、「人をたいせつに、自分をたいせつに、物をたいせつに」という合言葉が、金光学園にはあります。

私たちは、人や物に囲まれて生活しています。人や物の中心に自分がいるという事です。そして中心にいる自分は、周りの人々や、周りにある物を大切にするとともに、周りを大切にしている自分自身をも大切にすることが重要なのです。そうしていくことによって、おのずから、人間として尊い行いを実践できる人格が形成されていくのです。

これから先、学園生活を日々送っていくから先、学園生活には、建学の精神と合言葉をもって、みずから進んで、社会のお役に立つ生き方を求めているっていただきたいと思えます。

また、保護者の皆様におかれましては、元の金光教教主・金光鑑太郎様がお詠みになった、「父母も子どもとともに生まれたり育たればならぬ子ども父母も」というお歌にあるごとく、生徒の皆様とともにお育ちになる心で、お子様方を見守り慈しみお育てになって、親子ともども、学園生活を意義深いものにしていって

ただければ、誠に有り難いことに存じます。この場にご臨席の生徒の皆さん、そして保護者の皆様の、幾久しいご健勝とご活躍を祈念申し上げて、わたくしのお祝いの言葉とさせていただきます。

## 私達の願い

新入生代表 平井 愛佳

うらかな春の日差し我的祝福を受け、今日、私達、新入生145名は金光学園中学校の入学式を迎えることができました。伝統ある金光学園中学校に入学できたことを、大変嬉しく、誇りに思います。

これから始まる勉強や部活動、ほつま祭などの学校行事には、大きな期待とともに少しの不安もありますが、多くの友達と共に、協力し合い、中学校生活を楽しく、有意義に過ごしたいと思っています。時には、困難な壁におつかることもありますが、自分自身の決めた目標を胸に、最後まであきらめず、金光学園の合言葉である「人をたいせつに」を、自分もたいせつに物をたいせつに」を、いつも心に留め、お世話になる全ての人や物に感謝する心を忘れることなく、立派



な学園生になれるように頑張ります。最後にになりましたが、校長先生をはじめ、多くの先生方、そして、先輩の皆様、不慣れな私達ですが、温かい目で見守り、ご指導してくださいませよう、どうぞよろしくお願ひ致します。

本日は、私達新入生のために、このような素晴らしい入学式を行っていただき、誠にありがとうございました。

## 中学・保護者代表挨拶

長谷川 絢の



ご紹介に預かりました長谷川絢のと申します。大変僣越ではございますが、本日入学式を迎えた生徒145名の保護者を代表いたしましたして、一言ご挨拶をさせていただきます。

生徒の皆さん、ご入学おめでとうございます。メタセコイアが新芽できれいな緑に染まるこの良き日に理事長先生、校長先生をはじめ多くの金光学園関係者の方々からのお力添えをいただき、このような厳粛かつ立派な入学式を執り行っていたいただきましたこと、心より感謝いたします。ありがとうございます。また先程はあたたかい励ましのお言葉をいただきました。重ねて御礼申し上げます。

子供たちはこれからの学園生活に夢を膨らませて、ワクワクした気持ちでいっぱいです。私事ですが、金光学園を卒業してもう25年以上経ちましたが、我が子の今日の入学にあたり、学園時代の楽しかった記憶が戻り、我が子達にもその経験をさせてあげることができること、また親として再び学園に携わっていただけることを想像していると、子供以上に私のほうが楽しみです、ワクワクした気持ちでございます。私の恩師に我が子もお世話になろうとは嬉しい限りでございます。

私の学園時代は今とは違い女子はみんな可愛らしいセーラー服で、金光学園のそのセーラー服を着たいと憧れていた人



も多かったと記憶しております。その学園のセーラー服に袖を通し、みんな誇らしげに通っていたのを今でも懐かしく思い出します。

金光学園の思い出と言えば、ざっと思えば、い出だけでも沢山あります。このほつま体育館が完成して、ほつま体育館で初めて執り行われた入学式。プラスチックバンド





の生演奏が響く中の入場。「威風堂々」の行進曲を聴くと今でも学園の入学式を思い出します。入校時合宿、クラス旗作り、大山登山、雨の中ずぶ濡れで行った体育祭の応援合戦と泥まみれの同級生の姿。アメリカ合衆国カリフォルニアでのホームステイ、ほつま祭、修学旅行。そして金光学園百周年の年の卒業。金光学園に通っていた6年間は私の人生においても、とても濃い6年間だったこの年になっても感じます。

そんな数え切れないほどの思い出の中から、今日は私が金光学園の入学式で当時の校長でいらつしゃった加賀道郎先生から教わったお言葉をお伝えさせていただきますたいと思います。ご存じの方も大勢いらつしゃると思います。ご了承ください。そのお言葉というのは「にちにちがさら」という言葉です。この金光学園で大切にされている言葉のひとつです。この言葉は、かつての金光教団主様がおつしゃられていたお言葉だそうです。細かいことは省かせていただきますが、この言葉の意味とは、毎日毎日新しい気持ちで頑張るといことですが、加賀校長先生は、「一日に一回だけ新し

い気持ちになればいいというのではないぞ。そのとき、そのときを、一生懸命に励むということだよ」と教えて下さいました。加賀校長先生のお言葉をお借りして恐縮ですが、私からも皆さんへ、先程、金光校長先生が教えて下さいました学園の合言葉「人をたいせつに、自分をたいせつに、物をたいせつに」とともに、この「にちにちがさら」の気持ちを胸に刻んで、これからの学園生活を励み、有意義なものにしていただきたいと思ひます。

新入生の皆さん、金光学園での6年間が将来、自分たちの夢を決める時間となります。金光学園では出来ないことより出来ることがいっぱい溢れていると思います。様々な体験を通して、しっかりと自分の自分を見つけ、作って欲しいと思っています。どうぞ、しっかりと、目いっぱい楽しんでください。

校長先生をはじめ、諸先生方、そして、金光学園に携わってくださったすべての皆様、コロナ禍という誰もが経験したことがない中ではございますが、保護者といたしましては、「こんな時代だから出来なかった」ではなく、「こんな時代だけ出来た」と子供達には是非とも

言ってもらいたいと願っております。思春期真っ只中の子供たちですので、何かとご苦労ばかりお掛けするかと存じますが、どうか皆様、子供たちのことを我が子の様に想って、接していただければ幸いです。6年間、子供と共に親である私たちも学び成長したい所存です。最後になりましたが、金光学園の益々のご発展と、ここにお集まりの皆様、そして金光学園に携わってくださった皆様のご健勝をお祈りいたしまして、保護者代表の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

## 新入生願いの言葉

新入生代表 山口 奈津美

どこからともなく薫る春の息吹に、新たな「始まり」を感じる良き日、新入生160名は晴れて金光学園高等学校の入学式を迎えられることに心から感謝いたします。

私は3年前に金光学園中学校に入学し、顔馴染みの友人がいない中、学園生活が始まりました。私は不安でいっぱいでしたが、同級生はとても優しく、すぐに多くの友達ができました。中学校の大

山登山では、初めての山登りでくじけそうになりましたが、仲間のおかげで無事登頂できたことを鮮明に覚えてます。そしてこれからは高校から新たに加わる37名とともに、協力しながら高校生活を送りたいと思ひます。

昨年は新型コロナウイルスが流行し、楽しみにしていた多くの行事が中止になったり、制限を受けたりしました。あたり前のことがどれだけ幸せなことか気付かされました。ですが、このような状況だからこそ学べたこともありました。それは何事にも前向きに取り組むことです。体育会やほつま祭は制限がある中で工夫をし、できるだけのことを仲間と協力しながら精一杯取り組みました。この時、私はこの上ない達成感と喜びを感じました。そして学校生活での大切な思い出となりました。

私たちは今、不安と期待を胸に、これからの高校生活を充実したものになりたいと強く思っています。日々の生活を大切に、将来の夢に向かって精進していきたいと思ひます。

校長先生をはじめ、諸先生方、そして両親にはこれからも厳しく、そして温か



く私たちをご指導下さいますようお願い申し上げます。願いの言葉とさせていただきます。

## 高校・保護者代表挨拶

廣末 充浩



紹介いただいた、廣末と申します。令和3年度金光学園高等学校入学式という新たなスタートにあたり新入生の保護者を代表致しまして高い所からでは御座いますが、一言ご挨拶させて頂きます。

3月20日、岡山県で桜の開花宣言がありました。4月に入り、その桜も満開を迎え、随分気持ちの良い季節になって来たなと思っていたところ、今週に入り朝冷える日が続きました。皆様、体調には十分に気をつけて下さい。そのような中で迎える入学式、新入生の皆様、誠に

めでとう御座います。また、保護者の方々におかれましても誠におめでとう御座います。校長先生、教頭先生をはじめ諸先生方におかれましては、コロナ禍の状況の中、このような立派な入学式を挙行して頂き、子供達が無事高校生活のスタートを切る事が出来たことに保護者と致しまして大変感謝致しております。

さて先程も申しましたが、新入生の皆さんは義務教育を終了し、本日から高校生活をスタートさせることとなります。昨年度はコロナウイルス拡散防止対策として世の中では多くの行事が中止・規模を縮小しての開催となりました。金光学園も例外ではなく休校・リモート授業等行いました。先生方はご苦労も多かったのではと推測いたします。現在リバウンドも気になるところですが、岡山県でも4月2日に新型コロナウイルスの感染状況がステージ1からステージ2へと引き上げられました。この先どうなっていくのか全く分かりませんが、早く収束し、そして授業・行事が無事に実施出来、高校生活の3年間がより思い出深くなることを望むばかりです。先生方もご苦労が絶えないかとは思いますが、子供達をよ



ろしくお願い致します。

話は少し変わりますが、新入生の皆さんは高校生活でこれはやっておきたいとか、将来何になりたいかといった夢・希望をお持ちでしょうか？無理して今すぐ持てとは言いません。実は私自身も、この金光学園の卒業生であります。卒業



して30年以上経ちますが、当時はどうだったかと振り返ってみますと、特にそういういった考えは何も持っていませんでした。所属していた天文部や生徒会で結構忙しくさせて頂いていたなあと思うくらいです。当時と比べると皆さんは3年間で非常に多くの経験をさせて頂けると聞いています。中でも異国の文化に接する機会があると聞いています。異国の文化に接するとうい機会は色々刺激を受ける良い機会だと思えます。考え方は国・民族での違いは様々です。私は就職してからでしか海外の方と接する機会というのはありませんでした。その中でアメリカ人、カナダ人、メキシコ人、ブラジル人とドイツ人との交流をする機会があり、今でもたまに連絡は取りあっています。そういった機会に高校時代に巡り会えなかった事が今となっては残念で仕方ありません。高校時代は多感な時期と言われることもあります。学校生活で普段の生活の中では決して出来ない経験、こういった経験が出来るチャンスがあれば積極的に触れたり挑戦してみして下さい。まだまだ、失敗を恐れるような年でもありません。失敗す

ることで学べることも多々あります。ですので、恐れず色々やってみましょう。以前、メキシコに2ヶ月ほどいた際に、仲良くなった現地の人からよく「Everything Try」と言われたこともあり、その時は日本人が馬鹿にされるのも嫌だなと思い、全て挑戦しました。何か問題に直面した際、先程も言いましたが、失敗を恐れずやってみましょう。我々保護者もサポートはしますし、先生方も可能な範囲でサポートをして頂けるはずです。その時は先生方よろしくお願ひ致します。

最後に、「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」この言葉は卒業して三十数年たった今でもずっと頭の中にある言葉で、おそらく今後も忘れることのない言葉だと思います。多くの卒業生もそうではないかと思えます。ですので、この教えの言葉を胸に高校生活またその先の人生を過ごして頂いて下さい。

はなはだ簡単では御座いますが、保護者代表の挨拶とさせていただきます。





# 道

(29)

金光 道晴

## 井上全悠選手、 代表選手に選出

### 東京パラリンピック(卓球競技)

新型コロナウイルスの感染が始まって、もう1年半が過ぎようとしています。1年間延期された東京オリンピック・パラリンピックの開催の是非の論議が、今年になっても、そして開催直前の今なお続くとは、思ってもみないこととなりました。

先月6月20日には、地元岡山でも1か月以上にわたって出されていた緊急事態宣言が解除され、その後も感染者数が減少し、一桁とかゼロの日も続いています。ワクチン接種も進んでおり、東京など首都圏では増加傾向で心配されていますが、全体としては少し明るい見通しになってきているのかもしれない。

さて、そんな中で6月下旬のことですが、標題にあるように、卒業生の井上全悠選手(高66回卒、平成26年卒)がパラリンピック(卓球競技)代表選手に選出されるという嬉しいニュースが入ってきました。知らせを聞いた時には思わず「やったー!」

と声をあげてしまいました。私達教職員や生徒や同窓会をはじめ、学園関係者にとっても大変嬉しく喜ばしいことでもあります。

井上全悠選手は生後8か月の時交通事故に遭い、足に障害が残り、普通に歩いたり走ったりすることが出来なくなりましたが、スポーツが好きだったこともあり、金光学園の中学・高校に在学していた6年間は卓球部に入学して頑張り、その人柄から高校ではキャプテンも任せられました。高校3年生の時には、創立記念式(創立119年)の中で、全生徒の代表として所願表明を行いました。すでにその所願表明の中で、パラリンピック出場の夢を話しています。その時の所願表明の文章は8年前の「やつなみ」にも掲載されているのでありますが、一部を紹介します。「さて、先日2020年のオリンピック・パラリンピックの開催都市が東京に決定されました。私の記憶には、招致委員会の方々の素晴らしいプレゼンテーションが、今も鮮明に残っています。そして決定した瞬間のあの感動は忘れられません。私はそのパラリンピックに3大会連続で出場している佐藤真海選手のプレゼンテーションに感動しました。(中略) その中でも私が印象的だったのは『私にとって大切なものは、私が持っているものであって、私が失ったものではない』という言葉でした。(中略) 私の目標は、3年後のリオデジャネイロパラリンピックに出場すること、そして7年後の東京パラリンピックで金メダルを獲得することです。そのようなことは無理だと思われるかもしれませんが、



8年前の所願表明の高3の時の写真(やつなみ237号)

目指さなければ達成することはできません。私は目標に向けて挑戦し続けたいと思います。」このような話を所願表明として、全校生徒と教職員や多くの来賓の前で力強く話したのであります。

残念ながら、その3年後のリオデジャネイロパラリンピックには出場することはできませんでしたが、ついにこの度の東京パラリンピックでは代表選手に選ばれたのであります。そして先日その喜びの報告にやってきました。金光学園を卒業後は、山陽学園大学の学生の時も、卒業後の山陽学園大学職員としての現在も、生徒の部活動が終わる夕方6時頃から金光学園の小体育館でコーチをしている顧問の内田先生と共に練習に励んできました。東京パラリンピックの開会式は、来る8月24日です。是非個人戦でも団体戦でもメダル獲得を目指して頑張ってもらいたいと心から応援しているところでもあります。皆さんも是非熱いご声援をお願いしたいと思います。



先日学園に挨拶に来た時、校長室で撮った写真

体の丈夫を願え

体をつくれ

何事も体がもととなり

— 今も生きる金光学園での学び —

赤澤 和哉 (高49回卒)



恩師の先生方、同級生は驚いているのではないのでしょうか。「あの瀧上(私の旧姓です)」が真面目に働いて(働けて)いるとは」。

現在、私はプロ野球埼玉西武ライオンズでお世話になっており、メディアカルコンディショニンググループに所属しています。イメージしやすい言葉を使うと「トレーナー業」をしていることになり、トレーナーの業務は多岐に渡り、プロ野球ではその専門性により細分化され

ています。大きな怪我からの復帰を支援するリハビリ担当部門や、怪我を治療しながら選手を現場に送り出すいわゆる狭義のトレーナー部門などがあります。私はその中で選手を今よりも更に強くするトレーニング部門を担当しています。正直、私自身も今の人生は全く予想していませんでした。中学高校の学園時代も体育の成績は並でしたし、そんな自分がなぜ身体能力の化け物が集うプロの現場でトレーニングの指導をしているのか……。

この度、母校「やつなみ」の執筆をさせて頂くことは自分の予期しなかった人生を振り返る良い機会となりました。執筆を担当させて頂くにあたり、推薦してくださった宰相裕一先生に改めて感謝申し上げます。

小学校時代は勉強を全くせずとも100点以外取った記憶がないほど勉強が得意だった私は、私立中学に通うことを勧められて金光学園中学校を受験し、合格し

ました。大好きな幼馴染みのお姉ちゃん2人が通っている中学校ということもあって、金光学園に通えることは嬉しくて仕方なかったです。  
そんな中学時代の記憶ですが、実はほとんどありません。中学時代の思い出としてはつきりと覚えていることは「挫折」です。

先ほども申しあげた通り、勉強には自信があったので、初めての中間テストをいわゆる「ノー勉」で臨んだのですが、確か160人ほどの同級生の中で100番目くらいでした。少々プライドが傷ついたので、期末試験は初めて勉強をして臨みました。結果は更に順位が下がりました。決して授業についていけなかったわけではないです。先生方の授業は本当にわかりやすく、面白くて、引き込まれていました。

ああ、上には上がいるんだな。自分は頑張っても勝てない。

勉強から逃げ出し、中学3年生の頃には更に順位を下げた。ほぼ最下位だったと記憶しています。親にも叱られて苦しかったです。

高校では保健室登校のような状態でした。教室に入ろうとしても体がいうことをききませんでした。毎日お腹や頭が痛かったと記憶しています。しかし保健室

に行く症状が不思議とおさまるんです。なので保健室では元気に過ごしていました。このような状態です。周囲は仮病を疑っていたかもしれないですが、保健室の小野先生はいつも「体は元気で心が不調なら休んでいきなさい」と優しく接してくれました。当時、自分自身でも自分のことが分かっていなかった私を理解してくださった小野先生には本当に感謝しています。保健室では元気がだったので、日常の出来事や悩みもたくさん聞いて頂きました。その中で進路に関するアドバイスを頂戴したことを覚えています。

「僕は勉強が嫌いだから大学に行かない」「瀧上くんは体は丈夫で、心がちょっと疲れているだけだから(当時はいつもお腹が痛いのに何を言っているんだろう)と思っています)が今は分かります)もっと体を強くしてその体を生かして働けばいいじゃない。そういう体のことを勉強する大学なら興味はわくかも



しれないよ」

1年浪人をしました。が、体育を学ぶため大学に進学しました。大学の学びで得たものは金光学園の食後訓でもある冒頭の「体の丈夫を願え 体をつくれ 何事も体がもととなり」そのものでした。まずは体育学科らしく、トレーニングを始めたいのですが、毎日体を動かしていることで心がみるみる晴れていったと記憶しています。以来、頭痛や腹痛が続くことはありません。本当に体が基本だな、と。

心身一体という言葉が表すように、トレーニングをすることで体が生理学的に強くなったことも要因だと思えますが、変わっていく体を通して自分に自信が持てたことが大きかったと思います。

大学卒業後も身体について学びを続けて鍼灸師、マッサージ師の資格を取りました。運動に関する資格も最難関のものを突破しました。

勉強をしてこなかった私になぜ、国家資格諸々取得することができたのかは、おそらく「人と競

わなくなつた」からであると推測します。勉強の出来、不出来は比較対象があつたのですが、保健室でのあのアドバイスのおかげで単純に健康に興味はわき、その興味のままに身につけていったら今に至りました。人と比べるよりも自分の中にある目標と戦うほうが精神的に健全でいられると知りました。

心身が健全であることがいかに難しいことで、素晴らしいことを伝えたくて教職にも就きました。

いまはご縁があり、プロ野球の現場でトレーニング指導をしています。プロ野球選手は活躍して、勝って、ファンを喜ばせることが仕事です。私自身も球団に所属する以上、勝利を目指して仕事をしています。職務はトレーニングを指導することで選手のパフォーマンスを上げることだと考えています。が、もう一つの思いがあります。みなさんがテレビなどを通して見るプロ野球選手は屈強に見えるでしょう？ でも、実は私と同じような選手もいます。悩みや不安がある選手に、自分の経験を通してうまくトレーニングを導入することで精神面を回復させ、プロ野球選手である前に1人の人間として健全でいられるようサポートできたいと考えています。私はその力になりたいし、なれると思っています。





藤井 利奈  
今年から、金光学  
園に勤めさせていた  
だくことになりました  
た藤井利奈と申しま  
す。

高校1年団に所属し、1組の副担任を  
させていただいております。担当教科は英  
語です。部活動は音楽部吹奏楽団を担  
当させていただいております。

母校である金光学園で、教師として教壇  
に立てることを本当に嬉しく感じておりま  
す。私は学生時代、先生方から本当にたく  
さんのことを教えていただきました。中  
でも「勉強する楽しさ」や「継続して努力す  
ることの大切さ」を覚えていただいたこと  
が、今の私につながっていると思ってい  
ます。私も英語の授業を通して、生徒の皆  
さんに、英語を学ぶ楽しさやグローバルな  
視野で物事を考える力などを、自分の経験  
も踏まえてがら少しでも伝えていけたらと  
思っております。

また、無限の可能性を秘めた生徒の皆さ

んが、将来の夢や目標を達成するためのお  
手伝いが少しでもできたらと思っております。  
他にも何か相談などがあれば、いつで  
も気軽に話しかけてください。私なりに  
精一杯頑張りたいと思っておりますので、  
どうぞ宜しくお願い致します。



松本 蓮太郎  
今年度より金光学  
園に勤務させていた  
だくことになりました  
た、松本蓮太郎と申  
します。

中学3年団に所属しております。3組  
の副担任をさせていただいております。教  
科は数学で中学3年と高校1年の数学Aを  
担当しております。また、部活動はバスケッ  
トボール部を担当しております。

私は中学、高校の6年間を金光学園で過  
ごさせていただきました。その6年間で  
様々なことを経験し、多くのことを学ぶこ  
とができました。もちろんそれは、当時生  
徒であった私へ熱心な指導をしてくださっ  
た先生方のおかげであります。私が教員を  
目指そうと思ったのも金光学園の先生方と  
の出会いがきっかけでした。私に夢を与え  
てくれた金光学園で、今度は教員として生  
徒と一緒に様々なことを経験し、多くのこ  
とを学んでいき、生徒とともに私自身も成

長していきたいと思えます。  
まだまだ至らない点はあるとは思いますが、  
生徒一人一人との関わりを大切にしま  
がら一生懸命頑張っていこうと思えます。  
どうぞよろしく願っています。



佐藤 俊英  
本年度ご縁あって  
常勤講師として勤務  
することになりまし  
た高28回卒の佐藤俊  
英と申します。教科  
は国語です。高校1年4組の副担任です。

卒業して教育実習で学園にお世話になり  
ながらそれ以降ほとんどお訪ねすることが  
ございませんでした。在学中は国語をはじ  
めとして各教科で多くの先生方のご指導を  
受けましたが、それから長く学園とのつな  
がりというものを持たずに今日まで来まし  
た。しかし、この度このようなかたちで学  
園にかかわることができ、感謝いたしてお  
ります。

そのころ私は福山から片道30分をかけて  
通学をしていました。列車の中では少し勉  
強もしていましたが、友達と話したり、ふざ  
けたりしていました。それは今も変わらぬ  
風景であろうと思います。わが青春の思  
いが残る金光学園で、現在の生徒のみなさ



吉和 芽生  
今年度より、金光  
学園に非常勤講師と  
して勤務させていた  
だくことになりました  
た、吉和芽生と申し  
ます。

授業は中学3年、高校全学年の美術  
を担当しており、部活動は美術部を担当し  
ております。

私は、幼少期から絵や粘土など美術に親  
しみ、美術の教科や教師に対して魅力を感じ  
ておりました。この度、金光学園で美術  
の教師として勤めさせていただくことを大  
変嬉しく思います。金光学園では、校内の  
様々な場所で絵画作品が展示され、日々美  
術に触れることができると感じておりま  
す。そのような、作品を通して伝え合う場  
や機会を大切にし、生徒のみなさんの生き  
生きとした感性と向き合っていきたいで  
す。そして、身近なもの美しさを目を向  
けたり、自分の表現を深めたりする楽しさ  
を感じてもらおう授業づくりを目指し、一人  
一人の感じ方や見方を深めることができ  
る手助けができればと思っております。ど  
うぞよろしく願っています。

んに関わることを貴重な体験と思ひ、とも  
に学んでいきたいと思っております。

### 会報

令和3年度も昨年度に続き新型コロナ  
ウイルス感染症の影響を受け、保護者会  
活動は制限される中での活動となった。

金光教大祭接待奉仕 4月4・7・10日

の3日間に行われた金光教春の天地金乃  
神大祭に女性三役が奉仕した。全国から  
の代表の参拝の方々の接待奉仕で、大変  
感謝された。

第5回評議員会 4月20日(火) 令和2  
年度最終の評議員会が開催された。協議  
報告事項として、①令和2年度活動報告、

②令和2年度会計決算報告、③令和3年  
度三役選考経過報告が行われ、全て承認  
され、④は議決承認された。また、5月  
1日(土) 予定の総会が中止になり、令  
和3年度の第三役は書面協議で承認して  
頂くことも決定した。

総会 4月8日(金)に令和3年度総会  
中止の連絡を全校メール配信で送信し  
た。その後、5月1日(土)に令和3年  
度総会中止及び書面協議のお願い文書を  
全会員に配付した。その結果、各部から

## 会報

の会務報告、令和2年度会計収支決算報  
告が承認された。同時に役員改選も行わ  
れ、新三役が選任された。(敬称略)

新三役		各部 部長・副部长	
会長	副会長	指導部 部長	副部長
小野泰正	大目憲正	為房友佳	山田啓子
初村和彦	新谷久子	高倉優子	小出貴江
高橋洋末	木村佳子	岡本理奈	橋本里美
宮田佳代			

第1回全役員会・評議員会 7月1日(木)  
全役員会では、全役員と評議員の任務内  
容の確認、年間予定等について説明が  
あった。

評議員会では、各専門部役員の決定後、  
各部長・副部长が選任された。(敬称略)  
その後、3年度の活動方針、予算案、地  
区会等について検討し承認された。今年  
のはつまつ祭も昨年同様の取り組みになる  
ため、友愛セールの具体的な取り組みも  
協議された。

### 諸会合

○6月8日県幼小中P指導者人権教育  
研修会。オンライン。高橋副会長参加。

## 金光学園やつなみ保護者会 会長就任挨拶

皆様、平素よりやつなみ保護者会の活動に多大なるご理解とご協力を頂いておりますこと誠にありがとうございます。今年度やつなみ保護者会会長の職を拝命いたしました小野泰正と申します。

昨年、上迫会長のもと、副会長として何もわからないまま執行部に呼ばれたのですが、女性副会長をはじめとした役員の皆様、校長先生をはじめとした先生方のご尽力により、この金光学園に通うすべての生徒により良い環境を与えたいという想いの詰まった事業を展開されていることを教えていただきました。

私は倉敷で小さな自動車販売業を営んでいるのですが、自分の息子がこの歴史ある金光学園の生徒としてお世話になるとは思いもしないことでした。まさかまさか自分がこちらで保護者会の会長をさせていただくことになろうとは、人生ホントに何があるのかわからないものだなと思っています。

昨年の年初からの新型コロナウイルスの影響により、多種多様な様々なものに世界的に大きな影響が出て、いろいろな事柄



金光学園やつなみ保護者会  
会長 小野 泰正

において変化や対応をせざるを得ない状況下、まだまだ先の見えない昨今ではございます。しかし、こんな時期だからこそできること、できないことを慎重に見極めつつ、伝統ある金光学園の歴史を紡いでいく一助になればと思います今年度を担当させていただきます所存でございます。

私は教育に対して大変熱心な父親というわけではございません。しかしながら、我が子が学園生活の中で授業や部活動その他さまざまな学校行事を通じて日々成長していく姿を見ているのはハラハラドキドキの連続です。

やつなみ保護者会の活動はそういった子供たちの成長の応援団であり続けるべきだと思っていますし、ちよつとだけ子供たちの日常を垣間見ることのできるチャンスだと思っています。今年度も皆様のご協力を心よりお願いいたします。

## ほつま祭

### 「友愛セール」ご協力をお願い!

例年ほつま祭において、保護者会としての学校支援の為のバザー等を行う友愛セールを開催させていただいておりましたが、今年度もコロナ関連の事情もあり、安全面に鑑みて、前年同様の事前注文品の販売という形で開催したいと思っております。

今年度は前年度の反省等を踏まえ、学校から皆様に送られてくるメールを使ったオンライン注文を考えております。

役員さんをはじめとしたお母さま方が丁寧に手作業で制作して下さった金光ベアをはじめとし、商品のブラッシュアップもしつつ、ご案内させていただきたいと思っておりますので、皆様是非ともご理解とご協力いただけます様よろしくお願い申し上げます。





## 令和2年度決算の概要

学校法人金光学園

学校法人会計の計算書類は、資金繰りの状態を示す『資金収支計算書』、経営状態を示す『事業活動収支計算書』、財産状態を示す『貸借対照表』により表示し、私立学校法第47条及び学校法人会計基準第4号に定められた規則に基づき作成したものが、以下の「財務三表」です。

### 資金収支計算書

収入の部		支出の部	
科目	決算額	科目	決算額
学生生徒等納付金収入	586,450,270	人件費支出	829,367,672
手数料収入	3,775,900	教育研究経費支出	92,666,831
寄付金収入	26,265,798	管理経費支出	74,298,490
補助金収入	474,133,596	借入金等利息支出	2,322,272
付随事業・収益事業収入	390,589	借入金等返済支出	56,380,000
受取利息・配当金収入	622,441	施設関係支出	89,883,085
雑収入	54,517,312	設備関係支出	21,559,204
借入金等収入	62,500,000	資産運用支出	48,682,157
前受金収入	64,400,000	その他の支出	41,936,655
その他の収入	66,400,345	資金支出調整勘定	△ 8,934,447
資金収入調整勘定	△ 84,450,016	翌年度繰越支資金	50,018,312
前年度繰越支資金	43,173,996		
<b>収入の部合計</b>	<b>1,298,180,231</b>	<b>支出の部合計</b>	<b>1,298,180,231</b>

### 事業活動収支計算書

(単位：円)

科目		決算額	科目		決算額	
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	586,450,270	事業活動支出の部	人件費	828,150,570	
	手数料	3,775,900		教育研究経費	168,706,686	
	寄付金	26,292,998		管理経費	76,303,903	
	經常費等補助金	453,418,596				
	付随事業収入	390,589				
	雑収入	54,517,312				
	教育活動収入計	1,124,845,665	教育活動支出計	1,073,161,159		
<b>教育活動収支差額</b>					51,684,506	
教育活動外収入の部	受取利息・配当金	622,441	事業活動支出の部	借入金等利息	2,322,272	
	教育活動外収入計	622,441		教育活動外支出計	2,322,272	
<b>教育活動外収支差額</b>					△ 1,699,831	
<b>経常収支差額</b>					49,984,675	
特別収入の部	その他の特別収入	20,982,732	事業活動支出の部	資産処分差額	731,934	
	特別収入計	20,982,732	特別支出計	731,934		
<b>特別収支差額</b>					20,250,798	
〔予備費〕						
基本金組入前当年度収支差額				70,235,473		
基本金組入額合計				△ 101,803,978		
<b>当年度収支差額</b>				△ 31,568,505		
前年度繰越収支差額				△ 1,822,491,531		
<b>翌年度繰越収支差額</b>				△ 1,854,060,036		
(参考)						
事業活動収入計				1,146,450,838		
事業活動支出計				1,076,215,365		

### 貸借対照表

令和3年3月31日

資産の部		負債の部	
科目	本年度末	科目	本年度末
固定資産	2,325,922,359	固定負債	504,820,700
有形固定資産	2,125,639,256	流動負債	154,495,372
特定資産	200,000,000	<b>負債の部合計</b>	659,316,072
その他の固定資産	283,103	<b>純資産の部</b>	
流動資産	94,943,638	科目	本年度末
<b>資産の部合計</b>	<b>2,420,865,997</b>	基本金	3,615,609,961
		繰越収支差額	△ 1,854,060,036
		<b>純資産の部合計</b>	1,761,549,925
		<b>負債及び純資産の部合計</b>	2,420,865,997

## 令和2年度 収支決算

金光学園やつなみ保護者会

### I. 一般会計

(単位：円)

収入の部		決算額		差異	摘要
科目	予算額	決算額	差異	摘要	
1 会費	4,283,520	4,261,320	22,200	月額 P@320、T@400	
2 繰越金	1,076,384	1,076,384	0		
3 寄付金	20,000	10,000	10,000	大祭直会	
4 雑収入	30,000	9,390	20,610	預金利息、笠岡補導センター補助、他	
合計	5,409,904	5,357,094	52,810		

### 支出の部

科目		予算額	決算額	差異	摘要
1 指導部費	455,000	278,130	176,870		
A 地区会費	300,000	59,030	240,970	23地区	
B 生活指導費	5,000	3,000	2,000	広域補導	
C 通信連絡費	150,000	216,100	△ 66,100	役員会中止のお知らせ送料、家庭連絡電話料	
2 教養部費	3,045,000	1,550,900	1,494,100		
A 機関誌費	2,700,000	1,505,900	1,194,100	やつなみ257号～258号	
B 教養費	345,000	45,000	300,000		
(1) 研修費	300,000	0	300,000	総会講演・研修旅行他	
(2) 教養費	0	0	0	教養シリーズ	
(3) 講習会費	45,000	45,000	0	やつなみサークル補助	
3 庶務部費	1,430,000	996,755	433,245		
A 負担金	400,000	321,405	78,595	私中高父母の会負担金、他	
B 名簿刊行費	0	0	0	学園名簿 (R1年度から発刊しない)	
C 慶弔費	500,000	436,000	64,000	卒業式、弔慰、饗別	
D 会議費	100,000	47,481	52,519	総会、評議員会、役員会、食堂試食	
E 旅費	100,000	4,150	95,850	私中高P連総会、大祭湯茶接待、他	
F 事務費	200,000	163,026	36,974	諸消耗品代等	
G 特別委員会費	100,000	0	100,000	全国・中国地区私中高父母の会等	
H 雑費	30,000	24,693	5,307	標語パネル協賛金、振込手数料他	
4 予備費	479,904	0	479,904		
合計	5,409,904	2,825,785	2,584,119		

### 1. 一般会計収支

収入総額	5,357,094
支出総額	2,825,785
差引剰余金	2,531,309

この内、100万円を事業積立会計に積み立てる

◎剰余金処分 一般会計剰余金1,531,309円は、次年度一般会計に繰り越す。

支出の部

科 目	R3予算額	R2予算額	R2決算額	摘 要
1 指導部費	455,000	455,000	278,130	
A 地区会費	300,000	300,000	59,030	24地区
B 生活指導費	5,000	5,000	3,000	広域補導
C 通信連絡費	150,000	150,000	216,100	家庭連絡電話料
2 教養部費	3,045,000	3,045,000	1,550,900	
A 機関誌費	2,700,000	2,700,000	1,505,900	やつなみ259号～261号
B 教養費	345,000	345,000	45,000	
(1) 研修費	300,000	300,000	0	総会講演、研修旅行、他
(2) 教養費	0	0	0	教養シリーズ
(3) 講習会費	45,000	45,000	45,000	やつなみサークル補助
3 庶務部費	1,680,000	1,430,000	996,755	
A 負担金	400,000	400,000	321,405	私中高父母の会負担金、他
B 名簿刊行費	0	0	0	学園名簿(R1年度から発行しない)
C 慶弔費	500,000	500,000	436,000	卒業式、弔慰、饗別
D 会議費	100,000	100,000	47,481	総会、評議員会、役員会、食堂試食
E 旅費	100,000	100,000	4,150	私中高P連総会、大祭湯茶接待、他
F 事務費	200,000	200,000	163,026	諸消耗品代等
G 特別委員会費	350,000	100,000	0	全国・中国地区私中高父母の会等
H 雑費	30,000	30,000	24,693	
4 予備費	697,309	479,904	0	
合 計	5,877,309	5,409,904	2,825,785	

Ⅱ. 特別会計

収入の部 (単位：円)

科 目	R3予算額	R2予算額	R2決算額	摘 要
1 特別会費	7,874,400	7,980,480	7,966,880	月額 @680
2 繰越金	2,531,309	2,255,205	2,255,205	
3 雑収入	0	0	0	
合 計	10,405,709	10,235,685	10,222,085	

支出の部

科 目	R3予算額	R2予算額	R2決算額	摘 要
1 教育後援費	10,405,709	10,235,685	4,420,116	スポーツ振興センター共済掛金、生徒用コピー機、生徒会派遣費補助、事業積立金会計への積立等

《教育後援費の内訳》

①日本スポーツ振興センター共済掛金	1,200,000円
②高P連賠償責任補償制度加入掛金	440,000円
③私学ボランティア基金会費	20,000円
④私学ボランティア基金特別会費	10,000円
⑤高校図書室コインコピー機リース料	110,000円
⑤メールメイトシステム利用料 (R3年度分)	120,000円
⑥生徒会派遣費補助	6,000,000円
⑦事業積立会計へ	1,000,000円
⑧予備費	1,505,709円
	10,405,709円

Ⅲ. 事業積立会計

収入の部 (単位：円)

科 目	R3予算額	R2予算額	R2決算額	摘 要
1 積立金	1,000,000	2,000,000	2,000,000	特別会計より
2 臨時積立金			1,000,000	一般会計より
3 繰越金	4,000,000	1,000,000	1,000,000	
合 計	5,000,000	3,000,000	4,000,000	

Ⅱ. 特別会計

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1 特別会費	7,980,480	7,966,880	13,600	月額 P@680
2 繰越金	2,255,205	2,255,205	0	
3 雑収入	0	0	0	マスクingtテープ売り上げ
合 計	10,235,685	10,222,085	13,600	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1 教育後援費	10,235,685	4,420,116	5,815,569	スポーツ振興センター共済掛金、生徒用コピー機、生徒会派遣費補助等

《教育後援費の内訳》

①日本スポーツ振興センター共済掛金	1,178,160円
②高P連賠償責任補償制度加入掛金	391,600円
③私学ボランティア基金会費	10,900円
④私学ボランティア基金特別会費	10,000円
⑤高校図書室コインコピー機リース料	104,976円
⑥メールメイトシステム利用料 (R3年度分)	99,000円
⑦生徒会派遣費補助	625,480円
⑧特別会計から事業積立会計へ	2,000,000円
	4,420,116円

2. 特別会計収支

収入総額	10,222,085円
支出総額	4,420,116円
差引剰余金	5,801,969円

◎剰余金処分 特別会計剰余金5,801,969円は、次年度特別会計に繰り越す。

Ⅲ. 事業積立会計

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1 積立金	2,000,000	2,000,000	0	教育後援費より
2 一般会計からの臨時積立金		1,000,000	1,000,000	一般会計より
3 繰越金	1,000,000	1,000,000	0	
合 計	3,000,000	4,000,000	1,000,000	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1 事業費	0	0	0	

3. 事業積立会計収支

収入総額	4,000,000円
支出総額	0円
差引剰余金	4,000,000円

◎剰余金処分 事業積立会計剰余金4,000,000円は、次年度事業積立会計に繰り越す。

令和3年度 予算

金光学園やつなみ保護者会

Ⅰ. 一般会計

収入の部 (単位：円)

科 目	R3予算額	R2予算額	R2決算額	摘 要
1 会 費	4,296,000	4,283,520	4,261,320	月額 P@320、 T@400
2 繰越金	2,531,309	1,076,384	1,076,384	
3 寄付金	20,000	20,000	10,000	大祭直会
4 雑収入	30,000	30,000	9,390	預金利息、やつなみ増刷補助、笠岡補導センター補助、他
合 計	6,877,309	5,409,904	5,357,094	





1組 大橋 千紘

私は中学生になって、不安とわくわくした、両方の気持ちでいっぱいです。受験をして金光学園に入学することになったので、知っている人は少なく、仲良しの友達ともクラスが離れてしまったの

で、これからうまくやっていけるのか心配でした。でも私だけではなくみんな同じような気持ちなので、積極的に話して仲良くなれたらいいと思います。また、これからは部活や行事などがあります。先輩や先生方も一緒に活動することが多くなると思うので、早くこの学校に馴染んでいきたいなと思っています。

不安な気持ちがある一方、わくわくした気持ちもあります。なぜなら金光学園では、小学校で体験していないことも、できるようなるからです。例えば部活があります。小学校ではクラブがありませんが、週に1度あるか、ないかくらいしか活動はありません。中学生になると、自分がやりたいことを本気でできる環境が整っています。とても楽しみです。その他にもほつま祭や合宿などがあります。今は新型コロナウイルスの影響で、できるかわからない行事もあるけれど、を楽しみたいと思います。

そして、自分の将来のために、勉強にもしっかりと励みたいです。特に英語を頑張りたいです。今の社会はグローバル化が進んでいるので、そんな社会に対応で

きる英語力を身につけたいと思います、金光学園に入りました。ここで中高と勉強し、前の自分より成長できるようにしたいと思います。

私はこれから「文武両道」を目指し、日々努力することを忘れず、目標に向かって、頑張っていきたいです。

2組 渡邊 陽咲

私の夢は料理研究者になることです。新型コロナウイルスの関係で昨年3月の間休校になった小学校。休校の間は毎日昼食づくりをしました。私の作った料理をおいしいと言って食べてくれる家族の笑顔を見るのが大好きで、自分の料理でもっとたくさんの人を笑顔にしたいと思いました。

夏休みには尊敬する料理研究家の自宅で4日間勉強させて頂くことができました。大きな台所にある見たことのない道具や食材、料理教室の様子などたくさんそのことを教えて頂きました。その中でもイタリアに住んでいた時の料理日記を見せていただいたことが心に残りました。その時に、

「私が歩き、食べた国々の料理がいまの

私をつくっている。住む場所も、着るものも、食べるものも、すべてがその人をつくる」という言葉を頂きました。それから私も世界をまたぐ料理家になりたいと強く思うようになりました。その夢を叶えるために、金光学園で海外の文化や言葉をしっかりと学びたいです。世界中のたくさんの人々と出会い、交流して、たくさんの方が笑顔になれる料理を作る人になりたいと思います。

その他には茶道部に入り、茶道のことについて知りたいです。茶道は日本の伝統文化の一つでもあります。お客様をもてなす大事なことでもあります。私はこのようなすてきな日本の文化、茶道を海外の方にも知ってもらいたいと思っています。なので海外の方に日本の素晴らしさが伝わる、喜んでもらえるお茶をたてられるようになりたいです。

そのために、この中学校生活を大切に過ごしたいと思います。そして何よりも今、新しく始まる中学校生活にワクワクしています。

3組 伊藤 瑞

ドキドキとワクワクでスタートした入

学式の日から1日たって、ドキドキが消え、今はワクワクの気持ちになっていきます。

私は勉強と部活動を両方がんばりたいと思、金光学園に入学しました。他にも私の将来の夢は国際協力NGO職員になることなので、たくさん海外研修に参加して文化や語学について学びたいと思います。

そして、部活動では陸上をがんばりたいと思います。自分の目標を追う中で、時には困難な壁にぶつかったりして、くじけそうになったりするかもしれないけれど、あきらめずにがんばりたいです。そして、勉強でも陸上でも、楽はしたくないです。楽をした分だけ弱くなるからです。だけど時には、苦しくなったりするかもしれません。その時は立ち止まってもいいと思います。そして、またもう一度歩み始めればいいと思います。私は私のペースで、みんなはみんなのペースで夢を追えばいいと思います。夢に遅いも早いもないと思うからです。だから、私は私なりにがんばっていききたいです。そして、しんどい時や壁にぶつかってしまつた時は、1%でもいいから、昨日の自

分をこえるということを目標にこれからがんばっていききたいです。

そして、最後に「人をたいせつに分をたいせつに 物をたいせつに」を大切にしていき、中学校生活をがんばっていきたいです。

4組 草薙 涼太

あこがれだった金光学園にいよいよ入学しました。僕は今、楽しくて仕方ありません。家族からも「うれしそうね」と言われます。

僕は中学生になってがんばりたい事がたくさんあります。1つ目は英語です。両親の仕事の影響で、海外の方と接した時に何もコミュニケーションをとる事ができませんでした。その時、「世界中の方と出会うために語学を学びたい」と思いました。

2つ目は部活動です。僕は野球が大好きで、小さい頃、父や祖父とよくキャッチボールをしていました。ですが野球はほぼ未経験です。そこで、野球部に入り、一から基礎を教えて頂き、野球を通して心と体をきたえ、一生の仲間と出会いたいです。

# 47 入校時レクスタ

4月16日(金)・17日(土)、昨年度までの入校時合宿から名称を変更し、宿泊を伴わない形で入校時レクスタ(レクリエーション&スタディ)を実施しました。町内オリエンテーリング、学園歌マスター、学年レクリエーション、学習の時間などを通じて親睦を深めるとともに、集団生活の規律を学びました。

## レクスタで培われた力

1組 關藤 晴人

僕は、レクスタで培われた力は団結力と学力だと思う。なぜなら、「レクスタ」の「レク」であるレクリエーションでクラスや班と交流を深め、「レクスタ」の「スタ」であるスタディーでいろいろな教科の問題に取り組んだからだ。

レクリエーションはいろいろあった。まず、Konko町内オリエンテーリングでは30分という決められた時間内でクイズとゴミ拾いをして学園に帰らなければならなかった。そのため、時間を守る

大切さや班で協力して行動する力を学んだ。Gakuenフィットネスでは友達を作るのに必要な行動が身に付いた。学年レクリエーションはクラス対抗でミニゲームをした。ミニゲームはどれも簡単なルールだがクラスの団結力が必要なゲームばかりだ。特に心に残った事は、最後のゲームである綱引きだ。ただの綱引きではなく、5本の綱を一齐に取り合う綱引きでパワーだけではなくチームワークや作戦が必要であり、ちょっと難しいゲームだった。初戦は4組と対戦して6対4で勝った。そして決勝では3組と対戦して7対3で勝った。この綱引きでは優勝したが、それ以上に気持ちの良い出来事があった。それは、それぞれの組から、「がんばれ!」「あきらめるな!」と言う言葉が聞こえたことだ。さらに勝ったクラスにも負けたクラスにも自然と拍手をしていたのだ。僕はこのように相手にとって嬉しい言動や行動ができる人は「人をたいせつに」できるのだと思った。

## 本気で

2組 竹中 結乃

私が今日の入校時レクスタを終えて、



たくさんの方がいました。その中で特に私の心に残ったことが2つあります。

1つ目はGakuenスタディーPart1です。私は人に話しかけるのが苦手です。いつも一人でぼーっとしていました。けれど、Gakuenスタディーは特に班の人と話したイベントでした。

「こうじゃない?」「いやいやこうでしょ」と、みんなで分からないところを一緒に考えたり、解く人、書く人で役



一番心に残っていることは、学年レクリエーションです。学年レクリエーションが一番心に残っている理由は3つあります。

1つ目の理由は、学年みんなで協力して、開始5分前にそろって、座ることができたからです。前日の町内オリエンテーリングでは、開始が遅れてしまいました。でもその失敗を生かして、みんな協力して、声を掛け合って、5分前に集合することができました。このことが自分にとって成長であり、とても嬉し

かったからです。

2つ目の理由は、〇×クイズです。〇×クイズでは、学園や先生方のことをくわしく知れて楽しむことができたからです。クイズの内容では、面白かったこと、驚いたことなど、たくさんさんの学園のことについて知ることができ、とても心に残っています。

3つ目の理由は、綱引きをクラスの人たちと協力して、本気でしたことでした。綱引きでは始まる前にクラスの人たちと作戦を立てました。その時に、クラスの人みんなで団結して、みんなの意見を聞きながら作戦を立てていることがすごいなあと思いました。そして綱引きが始まったら、作戦の通りに動いて、みんなで協力し、本気で取り組むことができました。順位は低かったけれど、入学して初めての行事で最高の思い出を作ることができたので、とてもうれしかったです。

レクスタ実行委員の人や、準備して下さった先生方にとっても感謝しています。

## 不安が消し飛んだレクスタ

3組 坪井 杏璃

2日間にわたるレクスタでは、本当に



割を分担したりして、私も会話に参加することができました。そのことが本当に嬉しくて、楽しかったです。

2つ目は学年レクリエーションです。学園×クイズでは、他のクラスにいる友達と一緒に行動していたのですが、普段話すことができないので嬉しかったです。金光学園について知らないこと、先



生方の知らないことを○×クイズで知って、とても楽しかったです。レクスタ実行委員さんに何度お礼を言っても足りません。

他には、5色綱引きが印象に残っています。私は運動が苦手なので足手まといになるかも、と不安だったのですが、5本あることでた力が強いだけではダメなので、本当に良かったです。2組との対戦では、最初は少ない人数同士で引っ張っていましたが、声を張り上げ、息を合わせてがんばって、2組に勝てた時はとてもうれしかったです。1組との決勝戦で負けた時は悔しかったです、2位でよかったです。

私はこのレクスタで、クラスの人達と気軽に話せるようになりました。これからの学園生活がとても楽しみです。

#### 仲間の存在の大きさ

4組 山本 佳奈

多くの方が私たちのために計画してくださったこのレクスタで団結することの大切さやコミュニケーションをとりながら、人とふれあうことの大切さを学びました。

学年レクリエーションでは、クイズや綱引きで4クラスが競い合いました。綱引きでは、4組全員が心を一つにして体力がなくなってくるラストスパートでも、聞こえてくる声をバネに最後まで諦めずに、綱を引きました。あまり良くない結果でしたが、「本気で戦った」そのことに意味があると私は思います。結果はどうであれ、仲間と団結し、辛くても声を上げて応援してくれたクラスメイトがいることを私は誇りに思います。

次に学園フィットネスでは、他のクラスの人と体を動かして仲を深めました。最初はうまくコミュニケーションを取れるか不安でいっぱいでした。でも他のクラスの人たちが明るく笑顔で接してくれて、不安だった気持ちもすぐに晴れて、楽しみながら運動することができました。

この2日間で仲間という存在の大きさや、ありがたさ、コミュニケーションをとることの楽しさを学びました。このことを活かして、かけがえのない仲間とともに一日一日を大切に歩んでいきたいと思っています。

## AFS留学学生紹介

フランス  
レオ・ルドレフ

昨年12月にフランスから来日し、現在は高校2年に所属しているAFS留学学生、レオ・ルドレフくんが7月で帰国することになりました。これまで学んだ日本語の成果を活かして学園生活の思い出について書いてくれた文章を紹介します。



金光高校に着いた時に最初のびっくりしたことは制服だった。日本の高校はだいたい制服を使って知っていたのに慣れてなかった。掃除の時間があることにもびっくりした。フランスでは生徒が自分で掃除やらなくて、その場合には日本のほうがいいと思う。一番最初の時からみんなすごく優しくかった。日本語、学校、日本文化のことをたくさん教えてくれた。例えば授業の挨拶の説明をしてくれた。やっぱりフランスにそんな挨拶ない。

フランスで日本に留学で行った人は「実際には日本とアニメは全然違って、気を付けて」と言っただけで僕の意見では結構似ている。教室にはアニメのように黒板があって、席は自分の席で、フランスの小学校の教室みたいけど日本のほうがモダン。

先生は何かと言うことをよく分からない

いの、とても面白くて、手伝いが要るやつあったら絶対手伝う。

学校が一番困っているのは漢字だ。自分の周りにあるものを分かなかったら、最初は我慢できるけど、早く疲れているようになる。今も漢字をあまり読めないが、慣れてきた。

日本の学校の好きじゃないことは生徒のランクのことで、フランス文化に人々を比べるのが悪いことだからだと思う。それにプレッシャーを増やしてさせると思

う。クリスマスに日本にそんな大事なことではないから、ちょっと寂しくなった。最近も留学の終わりが近づいているからちょっと寂しくなったけど、だいたいあまり寂しくなかった。

もちろんいい事もあるよ。部活で文化のことをいっぱい学べた。上手くなる

なくても、少林寺拳法と茶道を練習できた。少林寺拳法の動き方は難し過ぎるし、茶道のお点前覚えにくいけど、頑張ればちょっとできてきた。

一番いい思い出は体育祭で、負けたのにこの時楽しかった。雰囲気良かった。科目は日本にフランスより多い。家庭科と保健と選球がなくて、英語と数学も一つの科目だし、地理と世界とフランス史は一つの科目だし、化学と物理は一つの科目だ。でも理由分からなくても、日本は科目を分けているのが好きそう。

コロナがあるのが残念で、修学旅行をしたかった。日本の高校の生活の大切なことで、とても楽しそう。

日本に戻る時に金光学園に絶対行きたい。

# 高3人権講演 「私の歩んだ道」

NPO法人 ヒカリカナタ基金 理事長 竹内 昌彦先生



見えないからできたこと

1組 難波 宏太

自分が竹内さんの立場になったと考えたら、すごく辛くて苦しいと思いました。できることが限られている中で自分のできることに対して向き合い、すぐに行動していってほしいのが伝わりました。自分の普段の行動が障がい者の方の迷惑になつていないかと考えさせられました。電車を利用する時に障がい者の方をよく見かけます。何度か声をかけたことがありますが、勇気が必要だと思いました。目が見えないとご飯を食べられない、服が着られないなどできないことがたくさんあります。自分の生活にありがたみを持ち、できることはすぐに行動しようと思いました。これからは素直さを持って生活していこうと思います。

講演を聞いて

1組 福武 莉奈

私は小学生の頃に竹内先生の講演を聞いたのをはっきり覚えています。5年以上前の記憶ですが、今も変わらない竹内先生の優しく明るい声がとても嬉しかったです。私自身、身内に障害を抱えている人が多く、考えさせられました。竹内先生のお話の中で、自分を犠牲にしてまで他人に奉仕する人という言葉がありました。祖母もよく世話をする方なのですが、そんな素敵な祖母や祖父に育てられ、私も他人への奉仕が大好きです。よく自分のことを投げ出して他人に尽くしているけれど、竹内先生のお話と少し似ているなと思いました。これでいいのかと悩ん

でいた時のこの講演でした。とても大きな岐点となりました。

## 竹内さんの講演を聞いて

2組 鳥井 慎治郎

僕は今日の講演で親と竹内さんの共通点をいくつか見つけた。僕の親もよく「自分だけの責任だと感じずに、みんなで考えなよ」と言ってくれ、竹内さんも「大事にする」ということを言われていたのだ、やっぱり共有することは大切だと思った。また、世の中には障害のある人がいて、そういった人たちに優しくすることで、社会全体を明るくできるということ、社会全体の生活に役立てて、自分でも気づきを大切にしたいと思った。

## 竹内先生の考え方

2組 日名 記姿乃

竹内先生は、講演のはじめから明るく話していて、私はもつと真面目な話を想像していたので、少し驚きました。障害があることで辛い、悲しいことがあると言いつつ、いじめられている時は、怒りでやり返したと聞いた時、私なら絶対できないと思います。親に心配をかけた

くないという幼いながらも優しさを持っていて、そして先生はとも前向きでこちらまで元気になりました。講演中、「人をいじめて楽しいか？」など、語りかけられたこと、「いや、それは違う」などはきりきりしていて、言っていることはすべて心に残っています。今もっている私の考えは未熟ですが、先生のおかげで心が温かくなり、障害だけでなく、いじめなどもっと広いことに目を向けていこうと思いました。

見えることの幸せ

3組 景山 啓介

障害のある人にとつて辛いものは、人間社会であることを知ってくださいとおっしゃっていましたが、自分も何気なく点字ブロックの上立っていたりすることがあります。自分たちが何気なく過ごしていても、迷惑になることがあると気付きました。竹内さんは自分に似た人がいたら声をかけてほしいとおっしゃっていました。実際にその場面になると、声をかけるのにも勇気がいると思います。しかしこれからは少しでも困っている人を見かけたらすぐに行動できるよ

うチャレンジしていきたいと思っています。

講演を聞いて

3組 奥村 友香

竹内さんの話を聞いて、障害のある人に対するイメージが大分変わりました。どちらかといえば、私は障害のある人にはあまりできることが少ないからこそ、私達が手助けをするべきだと思っていたのですが、今回の話を聞いて障害のある人もやれば色々なことができるということを感じました。手助けは必要なもの、はじめからできないだろうと決めつけ過ぎず話を聞いてみようと思います。

竹内さんの話を聞いて

4組 平松 正直

竹内さんの話を聞いて、1番印象に残った言葉はヒューマンリズムです。世の中には、目だけでなく耳や手、足などの障害のある方がたくさんいます。そして、困っている人もたくさんいます。そういう時に、見て見ぬふりをするのではなく、人のために助けられる人間になりたいと思います。



## 講演を聞いて

### 4組 岡本 れいら

「竹内さんは本当に目が見えてないの？」と疑問に思うくらい元気で驚いた。私は目が見えて、今まで重い病気をしたこともなく、こんなにも幸せな生活ができていたのに、毎日母にわがままを言っていた。竹内さんは自分が生まれたことに感謝し、自分ができることを見つけ、自分で幸せをつかんでいると知り、私も当たり前のことを当たり前と思わず、こうして生活できる日々感謝し、両親や関わってくれる全ての方々へも感謝を忘れないようにしたい。

## 人生で大切なもの

### 5組 小笠原 顕真

この講演を聞いて、色々なことを考えさせられました。特に、自分のためだけに生きるのではなく他人のために生きるということに感銘を受けました。実際何度もこういう言葉は聞いてきましたが、今回自分の中でさらに大きなものとなりました。今回自分の中でさらに大きなものとなつたように思いました。他人を幸せな気持ちにさせられるほうが自分も幸せになれる

という話に、これからは自分もその姿勢で取り組めたらと思いました。この講演を聞いて本当に良かったです。

## 竹内さんの話を聞いて

### 5組 虫明 紗桜理

竹内さんの話を聞いて、たくさんのがとが学べた。基本的なことだが、困っている人を助けること、他人の幸せを大切にすること、挑戦をおそれないこと、命を大切にすること、今自分にある環境や、命を当たり前だと思わないことなど、今まで自分の幸せを重視していた私に欠けていたことを改めて考えさせられたし、学んだことを今日から大切に生きようと思えた。大きな壁にぶつかっても挑戦し続け、他人の幸せのために努力する竹内さんはすごく立派で、そんな人になろうと思えた。自分がぶつかる悩みなどはすぐくつまらないように感じたり、これからもこの講演を胸に頑張つて、自分が他人のためにできることなど考えていこうと思つた。

## 人権講演を聞いて

### 6組 石原 采佳

る人の味方になろうと思えました。私達が普通目が見えて耳が聞こえて、手足が動くということは決して当たり前なことではないことを頭に置いて生活したいと思いました。

視覚障害という困難がありながらも、いじめに屈せず、勉強も頑張つて自分の人生を切り開いていく竹内さんの姿勢に感銘を受けた。自分がないものをうらやむのではなく、自分ができることに目を向けて行動していくのがかっこいいと思つた。リーダーの言葉によって、集団を良くも悪くも変えられるという言葉が深く心に残つた。竹内さんの話し方がとても上手で、2時間という長い時間お話をされたにも関わらず、ずっとおもしろく、あつという間に時間が過ぎた。竹内さんのお話を聞いて、今の自分が家族に恵まれ、健康体で過ごせていることに感謝し、これからも自分の挑戦を続けていきたいと思う。

## 講演を聞いて

### 6組 山口 祐紀

今日の講演を聞いて、目に見えるものがすべてではないと改めて思つた。私は今、当たり前のように目が見えていて、目が見えない人の感じ方をすべて理解するのは難しいと思う。しかし目が見えない人に限らず他人のことを理解するのはやっぱり難しいと思う。人は自分と

## 表紙の言葉

### 中2 村上 遼

山蟹のさばる赤き見たりけり

清らかな小川のせせらぎと、その淵に立つ、小さく、真っ赤な色した蟹。

この俳句を見てすぐに、私の頭にはこのような情景が浮かびました。

そんな情景をもとに今回、版画を描き、特に蟹は細かく色分けをするなど、丁寧に描きました。また、その蟹を目立たせるために、背景の色や小川の水の色などを工夫しました。

今回私が選んだ俳句は、夏の情景をうたったものだったので、夏の爽やかさを表現することも意識しました。

小さく、何気ないものからでも美しさは見いだせる。そのものの美しさや価値に、大きさなど関係ない。そのことを今回学んだ気がします。それを心に留め、これからの学校生活、これからの人生をおくっていきたいと思います。

## 見えないから見えたもの

### 7組 西村 晴

つらいこともポジティブに考えていてすごいと思つた。健康な体に感謝して、それを生かした意義のある人生を送りたいと思つた。そして自分のことだけではなく人のことも考えて、誰かのために何ができるような人になりたいと思つた。

## 学んだこと

### 7組 中山 愛梨

今日竹内さんの話を聞いてたくさん学んだことがあります。それは「助ける」ということです。視覚障害者は不安でいっぱいだと思います。そんな時、私たちが助けて声をかけてあげることが大切だと思えました。そして、弱い立場にあ

**オープンスクールPART1**  
**一日入学のお知らせ**

**【学校・入試説明会】**

月 日	会 場	内容及び時間帯	申込
6月26日(出)	金光学園	授業公開自由参観 (8:45~) 学校説明会 (10:00~12:00)	不要
7月25日(日)	金光学園	オープンスクールPART1・2 「一日入学」下記参照	必要
8月28日(出)			
9月18日(出)	井原 地場産業振興センター(経営研修室)	入試説明会 (14:00~16:00) (個別相談会)	不要
9月25日(出)	倉敷 ライフパーク (視聴覚ホール)		
10月 2日(出)	福山 県民文化センターふくやま (第1練習室)		
10月 2日(出)	岡山 ピュアリティまきび(中会議室)		
10月24日(日)	金光学園 ※地域会場 (模擬テストのみ) 岡山国際交流センター、県民文化センターふくやま	中学入試模擬テスト (9:00~12:30) 中学入試説明会 (13:30~15:00) 個別相談会 (15:00~16:00)	必要 不要 不要
10月30日(出)	金光学園 ※地域会場 (模擬テストのみ) 岡山国際交流センター、県民文化センターふくやま	高校入試模擬テスト (9:00~12:45) 高校入試説明会 (13:30~15:00) 個別相談会 (15:00~16:00)	必要 不要 不要
11月 6日(出)	金光学園	入試説明・相談会 (14:00~16:00)	不要

**【オープンスクール PART 1・2・3】**

対象	行 事	日 時	場 所	内 容	申込
小 中	PART 1・2 一日体験入学	7月25日(日) 8:40~12:05 8月28日(土) 8:40~12:05	金光学園	授業体験、部活動体験、 学校説明会、在校生・ 保護者とのフリートーク、 個別相談会	必要
小 中	PART 3 ほつま祭見学	9月11・12日(土・日) 10:00~14:00	金光学園	見学とスタンプラリー、 個別相談会	必要

詳細は金光学園ホームページをご覧ください。

R4(2022)年度の中・高校募集用の「学校案内」ができています。  
自由に配布できるように用意しています。ご協力いただける方は、  
ご連絡ください。

HPにも掲載していますので、ご覧下さい。

<http://www.konkougakuen.net>



以上 よろしくお願いたします。

日時 2021年8月28日(土) 8:40~12:05

場所 金光学園中学・高等学校

対象 小学5・6年生と保護者の方  
中学1・2・3年生と保護者の方

※4歳~小学4年生対象のプログラムもあります。

内容 授業体験(小学生・中学生)、部活動体験、学校説明会  
在校生・保護者とのフリートーク、個別相談会 その他

**\*一日入学スケジュール**

	小学生対象	4歳~小4 対 象	中学生対象
8:40~	受付 (ほつま体育館下)		
9:10~9:20	オープニングセレモニー		
9:20~9:40	オリエンテーション		
9:55~10:45	楽しい 授業体験	学校説明会① (保護者対象)	チャレンジ コーナー 授業体験 学校説明会① (保護者対象)
11:05~12:05	部活動体験 チャレンジ	学校説明会② (保護者対象)	キッズ プレイ コーナー 部活動体験 学校説明会② (保護者対象)
12:05~	中高入試対象個別相談会 在学生・保護者とのフリートーク		

**【授業体験】 9:55~10:45** チャレンジコーナーと  
キッズプレイコーナーのみ  
9:55~12:05

	教 科	内 容「タイトル」	対 象	
小学生対象	A	国 語	入試対策授業	
	B	社 会	入試対策授業	
	C	数 学	入試対策授業	
	D1	理 科	入試対策授業	
	D2	理 科	小さな生物を観察しよう!	小3・4年
	E	英 語	Let's have fun in English!	小4・5・6年
	F	技 術	3Dプリンターで小物にチャレンジ	小5・6年
	G	美 術	紙を切って貼ってアートな雑貨づくり	小学5・6年
	H	体 育	Let's play tee-ball! ※運動できる服装・靴を持参ください	小1~4年
	I	チャレンジコーナー	楽しい工作にチャレンジ (途中退場できます)	小1~4年
J	キッズプレイ コーナー	みんなで楽しく遊びましょう (途中退場できます) (お絵かきや風船遊びなどで、楽しく遊びます)	4歳~小2年	
中学生対象	K	国 語	入試対策授業	
	L	地 歴	おうちで世界旅行 in 金光学園	
	M	数 学	入試対策授業	
	N	生 物	酵素パワーを見てみよう!	
	O	化 学	化学でカラーマジック	
	P	英 語	入試対策授業	

**【部活動体験】  
11:05~12:05**

①新聞部 ②天文部 ③生物部(小学生のみ)  
④電気科学部(小学生のみ) ⑤書道部 ⑥茶  
道部 ⑦音楽部吹奏楽団 ⑧音楽部コーラス  
⑨放送部 ⑩科学部(小学生のみ) ⑪美術部  
⑫ラグビー部(中学生のみ) ⑬ソフトテニス  
部 ⑭卓球部 ⑮野球部 ⑯サッカー部(小  
学生のみ) ⑰柔道部 ⑱剣道部 ⑲バスケット  
ボール部 ⑳バレーボール部(男子のみ)  
㉑少林寺拳法部 ㉒ダンス部(小学生のみ)

※小学5・6年生と中学生が対象です。  
\*運動部は運動ができる服装でお越しください。  
(例:野球は長ズボン)授業後の着替え  
場所はありません。  
\*道具類=野球部は帽子・グローブ・スパイク・  
ユニフォームもあればご持参ください。  
卓球部・バスケットボール部・バレーボ  
ール部・ダンス部は、体育館シューズをご持  
参ください。  
テニス部・卓球部はラケット、サッカー部  
はスパイク、剣道部は剣道用具をお持ちで  
したらご持参ください。  
書道部は道具一式・紙をご持参ください。  
\*屋外スポーツは雨天の場合実施できないこ  
とがあります。また、上記以外の部活動は  
都合により出来ません。

\*教科によっては定員に限りがあります。先着順で定員になり次第、第2希望とさせていただきますので、お早めにお申し込みください。  
\*雨天の場合、体育館はタオルを用いたフィットネスを予定しておりますので運動できる服装・体育館シューズ・タオルをご持参ください。

- 34 -



## 令和3年度大学入試結果

合格者数(現浪合計)  
令和3年4月現在

国立大学……………合計	31	東海大(2)	東京工大(1)	畿央大(1)	鳥取看護大(1)	倉敷中央看護(1)	
		東京造形大(2)	東京電機大(3)	岡山商大(9)	岡山理大(6)	美作市スポーツ医療(1)	
		東京農大(1)	東京薬大(1)	岡山実業(2)	川崎医大(2)	広島酔心調理(1)	
		東京理大(3)	日本大(4)	川崎福祉大(22)	吉備国際大(4)		海外進学・準備……………合計
		只女子体実(1)	明治大(4)	倉敷芸術科実(5)	くしき作実(6)		1
		明治学院大(1)	立教大(3)	山陽学園大(4)	就実大(13)	倉敷消防官(1)	
		早稲田大(6)	アジハリ大(1)	清心女子大(9)	環太平洋大(2)	JFE瀬戸内海GC(1)	
		金沢医大(1)	金沢工大(1)	岡山医療職大(1)	広島経大(10)		合計
		福井医療大(1)	愛知学院大(1)	広島工大(2)	広島修道大(3)		2
		愛知淑徳大(2)	京都外大(1)	広島女学院大(1)	福山大(5)		
		京都産業大(13)	京都女子大(1)	福山平成大(3)	安田女子大(5)		
		京都芸術大(1)	京都橘大(1)	広島国際大(2)	泉広島看護(1)		
		同志社大(7)	立命館大(15)	徳島文理大(4)	松島聖女実(1)		
		龍谷大(6)	京都芸術科実(1)	福岡大(1)			
公立大学……………合計	9	追分学院大(4)	大阪学院大(1)	私立短期大学……………合計	2		
		大阪経大(2)	大阪工大(2)	武庫川女子短大(1)	川崎医療短大(1)		
		大阪産大(1)	関西大(16)				
		関西外大(4)	近畿大(21)	省庁大学校……………合計	1		
		四天王寺大(1)	摂南大(7)	水産大学校(1)			
		桃山学院大(2)	関西福祉科実(1)				
		藍野大(1)	関西学院大(13)	専門学校等……………合計	7		
		甲南大(11)	神戸学院大(13)	ESP学園(1)			
		芸術科実(1)	神戸学院大(1)	神戸ヴェルエルヴェル(1)			
		神戸薬大(1)	兵庫医大(1)	朝日医療(1)			
		兵庫大(1)	武庫川女実(5)	穴吹ビジネス(1)			
		関西福祉大(1)	奈良学園大(1)				

## 生徒会活動

《中生徒会》 4月21日に新入生歓迎会をほつま体育館にて実施した。今回の歓迎会は、感染症対策として全校生徒が体育館に集まることができなかったため、上級生はオンライン中継を利用し教室で、一年生は体育館にて上級生による部活動紹介を楽しみ、22日・23日に行われる一日入部に向けて、各部の雰囲気や特徴を実際に見ることができた。

6月4日には、生徒会総会をオンラインで行った。昨年度の決算報告や今年度の各委員会や部活動の予定や予算などを討議し、全ての提案が承認された。また、総会に向けてのクラス討議では、生徒会三役が中心となって考えた感染症対策の徹底の声かけを行った。

《高校生徒会》 4月23日(金)には、晴天の下、高校3年生、2年生の春季球技大会が開催された。ソフトボール、ドッジボール、フットサル、ティーパーの4

種目でそれぞれ熱戦が繰り広げられた。4月24日(土)、生徒会役員選挙が行われ、生徒会長に2年5組の木下幸喜くんが選出され、副会長に2年2組の葉上彰丸くん、2年7組の米田遥香さんがそれぞれ承認された。

5月28日(金)、第一回生徒会総会がオンラインで開催された。今年度の基本方針や予算について審議され、すべて原案通りに承認された。運営は円滑に進み、舞台で発言した執行部、各種専門委員長、学年代表者会議議長らはいずれも堂々とした態度で発表を行った。その他、9月に開催されるほつま祭や体育会に向けて、各クラスや実行委員会等で着々と準備が始まっている。

《天文部》 中学1年生5名を加えて、部員20名で活動している。今年度も毎週金曜日を中心に活動している。コロナ禍で夜間観測が実施できていないが、ほつま祭の展示の準備等を行っている。

《書道部》 中1、4名が入部。中高合わせて15名で活動中。第42回ふれあい書道展で次の賞を受賞した。特選(高3) 赤沢梨吏・進藤春菜(高2) 大塚萌衣(高1) 寺川なのは / 奨励賞(高3) 赤沢梨

吏(高1) 石井雄人  
《茶道部》 3月22日に、今までお世話になった岡本征枝先生をお招きし、お茶会と送別会を行った。また、中・高と活動を続けた高3の生徒に対してお家元から奨励証をいただいた。5月には5人の中1新入部員が加わった。

《音楽部吹奏楽団》 5月3日(月・祝)、倉敷市民会館にて、第49回定期演奏会を開催した。開催日の直前から岡山県の新型コロナウイルスの感染状況が悪化しており、開催についても協議したが、感染症対策、プログラムの検討を行い開催する運びとなった。第一部では「ハリウッド万歳」創部100年記念委嘱作品である「ファンファーレ「蒼天の光」」「エンジェル・イン・ザ・ダーク」を演奏し、第二部では「Golden Light Medley」と称して、「糸」「Get It On - 黒い炎 -」「365日の紙飛行機」「海賊戦隊ゴーカイジャー」「DANZEN」あたりはプリキュア「ZARD」レクシオン「乾杯」「かっぱれPUNK」「勝利への讃歌」を演奏した。  
《音楽部コーラス》 3月21日(日)に里庄総合文化会館フロイデにおいて、スプリングコンサート2021を開催した。

感染症対策の一環で、例年の3部形式から2部形式で行った。第1ステージでは合唱曲やポップスを全体や男女に分かれて歌った。昨年度は新型コロナウイルスのため、コンサートが中止になり、最後のステージを踏むことができなかった。高3もステージに上がることができた。そして共にマイウェイを歌うことができた。無量であった。第2ステージは例年の企画ステージ。今回も劇を通して、部員たちの伝えたいものを歌だけでなくダンスやチャリディング、カラーガードも交え、最高のステージにすることができた。

6月の高等学校合唱祭は11月以降に延期、7月に開催予定であった岡山県芸術フェスティバルは中止となった。

8月6日(金)に開催される全国高等学校総合文化祭和歌山大会への出場が決まった。2016年の広島大会以来、5年ぶり5度目の出場となる。

《中放送部》 新入部員として2名の1年生を迎え、お昼の放送をしたり学校案内の撮影・編集をしたりしている。6月5日(土)に就実中学・高等学校で行われた「第38回NHK杯全国中学校放送コンテスト岡山県予選」において、朗読部門で中3の山瀬あおいが、テレビ番組部門への出品作品「青春残り25分」(制作代表者・中3中山亜美、應武杏珠)が岡山県代表に選ばれ、8月7日・8日に行われる全国大会の予選へと勝ち進んだ。

《高放送部》 今年に入部する生徒がいなかったため、3年生3人のみで活動している。6月7日(日)、就実中学・高等学校を会場に、「第68回NHK杯全国高校放送コンテスト岡山県予選」の決勝大会が開催されたが、残念ながら参加を見

送った。

《軽音楽部》 新たに高校1年生が5名入部した。ほつま祭での発表に向けて日々活動している。

《ラグビー部》 4月17日(土)、24日(土)に水島緑地福田公園サッカー・ラグビー場で行われた中国高等学校ラグビーフットボール大会岡山県予選会に高松農業、倉敷工業との合同Cチームとして交流戦に参加した。合同A(津山工業・津山高専・岡山城東)に12-7、0-40で1勝1敗、合同B(岡山一宮・岡山工業)には0-10、0-14で2敗だった。4月29日(木)に水島緑地福田公園サッカー・ラグビー場で行われた備中支部総体7人制の部に参加した。人数不足のためにエキシビジョンマッチとして、玉島の選手とともに倉敷と対戦し、0-39で敗れた。6月5日(土)・6日(日)に岡山県総合体育大会ラグビーフットボール競技が、12日(土)に全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会岡山県予選が美作ラグビー・サッカー場で開催された。県総体にはBブロックに岡山城東・岡山一宮・

岡山朝日・津山工業・津山高専とともに合同チームとして参加し、一日目は岡山工業に40-14で勝ち、二日目は倉敷工業に24-15で勝ち、Bブロックで優勝した。7人制岡山県予選には岡山城東・岡山一宮・岡山朝日とともに合同チームとして参加し、1回戦で関西と対戦し、0-34で敗退した。

《中男子ソフトテニス部》 6月20、21日に備南西地区総体に出場した。個人戦では3ペアが2回戦で敗退した。団体戦では美星中に1-2で勝ち、井原中に2-1で負け、予選2位で個人・団体戦ともに県大会への出場権を獲得できなかった。

《高男子ソフトテニス部》 4月18日(日)、岡山県春季高等学校ソフトテニス選手権大会が水島緑地福田公園テニスコートでおこなわれ、1ペアが出場したが1回戦で敗退した。

4月24日(土)には全日本・中国高等学校ソフトテニス選手権大会(ダブルスの備西地区予選会が笠岡総合スポーツ公園テニスコートでおこなわれた。5ペアが出場したが、すべて4回戦までに敗退し、県大会への出場権の獲得はなら

なかった。また5月1日(土)には同じく笠岡総合スポーツ公園テニスコートにて備西地区高等学校対抗ソフトテニス大会がおこなわれた。各校のAチームが出場する1部トーナメントでは、1回戦で笠岡商業高校に0対3で敗れ、ベスト4入賞はならなかった。

そして6月13日(日)、全日本・中国高等学校ソフトテニス選手権大会(団体)の岡山県予選会が浦安総合公園テニスコートでおこなわれたが、1回戦で水島工業高校に0対3で敗れ、初戦で敗退した。

《高女子ソフトテニス部》 2年生2名、1年生2名の計4名で今年度の活動がスタートした。

4月18日に福田公園テニスコートで行われた春季高校選手権《個人》に2ペア出場し、1回戦敗退。4月24日に笠岡総合スポーツ公園テニスコートで行われたインターハイ・中国大会備西地区予選《個人》に2ペアが出場したが、県大会出場はならなかった。2ペアであるため、備西地区総体(ソフトテニス競技《団体》)やインターハイ・中国大会岡山県予選《団体》には出場すらできず、悔しい思いを

抱いている。6月27日に福田公園テニスコートで行われた団体1次予選に2年生の1ペアが出場したが、1回戦敗退。

《中卓球部》 3月21日に岡山県団体総合選手権に参加した。男子団体の予選リーグで三菱自動車に0-3、岡山操山高校に1-3、興除クラブに0-3で敗れた。

4月4日にチェリーカーに参加した。男子団体ではAチームとBチームが予選を全勝し決勝リーグに進出、Aチームは決勝でTFとみやまに敗れ準優勝、Bチームはベスト8に入った。

4月18日に福山市卓球協会会長杯に参加した。男子団体ではAチームが決勝リーグに進出し、3位に入賞した。Bチームは予選2位リーグで1位となった。

4月25、26日に岡山近府県大会(一般の部)に出場した。男子団体の予選リーグで教友会に1-3、関西高Bに0-3、興除クラブに0-3、倉敷天城高に3-0であった。

5月3、4日に岡山近府県大会(中学以下の部)に参加した。男子団体では予選リーグで御南に3-0、総社西に3-0で勝ち、決勝トーナメントでD・ドウリームに1-3で敗れた。男子個人では



白神（L3）がベスト16に入った。

6月19、20日に備南西地区総体に出場した。男子団体では予選リーグで6勝、決勝リーグで2勝の結果、優勝し県大会の出場権を獲得した。女子団体では予選リーグで4敗、順位決定リーグで2敗の結果、8位であった。男子個人では白神が準優勝、金子（L3）が7位、藤井（L3）が9位で県大会の出場権を獲得、山田（L3）がベスト16、島原（L3）がベスト32に入った。女子個人では藤原（L1）が5位で県大会の出場権を獲得した。

《中野球部》 5月1、2日に笠岡市営球場で行われた第16回笠岡東ライオンズクラブ杯では、1回戦で里庄中学校に5―2で勝利し、準決勝戦で笠岡東中学校に11―3で勝利した。決勝戦は新型コロナウイルス感染拡大防止のため7月10日に延期された。

6月20、21日にどんぐり球場などで行われた令和3年度中体連備南西地区総体は、1回戦で新吉中学校に9―0で勝利し、代表決定戦で里庄中学校に3―2で8回タイブレークの末サヨナラ勝ちを収め、3年ぶり12度目の県大会出場を果たした。

体（福井インターハイ）への出場を決めた。

《中陸上競技部》 岡山県陸上競技選手権大会が開催され、400mリレーで爲房百恵・水流和々花・瀧本椰々子・佐藤地央が7位に入賞して中国大会への出場を決めた。

岡山県中学校混成大会兼記録会が開催され、100mで佐藤地央が優勝、瀧本椰々子が2位に入賞した。

《柔道部》 今年度柔道部では新たに中1が2名、中2が1名入部し、計15名で活動をしている。

4月24、25日に岡山武道館で、第68回中国高等学校柔道大会岡山県予選会が行われた。男子団体戦では津山に2―1で勝ち、岡山県作陽に0―1で敗れた。男子個人戦では計5名が出場し、それぞれが善戦した。

6月5、6日に岡山武道館で、第60回岡山県高等学校総合体育大会柔道競技が行われた。男子団体戦では商大附属に5―0で勝ち、倉敷工業に0―5で敗れた。男子個人戦では計4名が出場し、それぞれが善戦した。

6月19日に里庄武道館で、令和3年度岡山県中学校体育連盟備南西地区総合体育大会柔道競技が行われた。男子団体戦では笠岡東、里庄にそれぞれ敗れ第3位であった。男子個人戦では計5名が出場し、66kg級で中3磯川が、73kg級で中3大橋がそれぞれ第1位となるなど、善戦した。

《中剣道部》（前年度追加分を含む）  
《段級審査会》 3月28日（日）総社武道館で開催され、才野恵翔、山下劉（とも

に当時2年）が1級に合格。

《備南西地区総体》 6月19日（土）笠岡総合体育館サブアリーナで開催され、男子個人試合で才野、山下（ともに3年）が2回戦敗退であった。

《高剣道部》  
《中国大会予選会》 4月25日（土）～26日（日）、岡山市総合文化体育館で開催され、浅野優斗（2年）が2回戦敗退であった。

《県高校総体》 6月5日（土）～6日（日）、笠岡総合体育館で開催され、浅野が2回戦敗退であった。

《高陸上競技部》 岡山県高等学校総合体育大会に18名が参加し、安福柝汰が110mハードルで優勝、100mで3位、400mハードルで5位。荒川歩夢が走幅跳で5位。西森翔真が三段跳で6位。六原未智が走り幅跳で6位に入賞。清水麻理が5000m競歩で8位に入賞した。その結果、6位までの入賞者は山口県で開催される中国大会への出場を決めた。

中国高校陸上が山口県で開催され、安福・西森・荒川・六原の4名が県大会を勝ち抜き出場して、安福が100mで優勝、110mハードルで5位に入賞し全国高校総

## 学園だより

出校日・大祭奉仕 4月6日、在校生は出校し、新クラス発表の後、教室移動を行った。中2は金光教本部に集合し、大祭奉仕を行った。

入学式 4月8日、新型コロナウイルス感染防止対策のため、規模を縮小して実施した。中学は午前中に、高校は午後からほつま体育館で行い、それぞれ145名、160名の新入生が希望に胸を膨らませて入学した。

始業式 4月9日、オンライン形式で1学期始業式が行われた。新任教員紹介の後、校長式辞、在校生を代表して高3の山下湜生くんから歓迎の言葉、また新入生を代表して中1の平井ほのりさんから挨拶がそれぞれあった。

◇新入生代表挨拶（中1 平井ほのり）  
暖かな春と共に、私たち中学校145名、高等学校160名は、金光学園の生徒として新たな仲間と新しい一歩をふみ出しま

す。

これから始まる学園生活は、希望と期待で満ち溢れています。何事もチャレンジして楽しもうというワクワクした気持ちもある一方、環境の変化に不安な気持ちもありますが、新たな仲間と共に一歩一歩をしっかりと歩んでゆきます。

私たち新入生一同は、歴史と伝統ある金光学園に通える事への感謝と、「人をたいてつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」という心を胸に、充実した学園生活を送っていかうと思えます。先生方、先輩方、どうぞよろしく願います。

新入生本部参拝 4月10日、晴天に恵まれ中1と高1が金光教本部に参拝し、これからの学園生活の立ち行きをお願いした。その後、境内でクラス毎の記念写真を撮った。

◇お届け（高1 大橋優樹）  
4月8日に中学校新入生145名、高等学校新入生160名、合計305名は多くの方々の祝福を受け、金光学園に無事入学させて頂くことができました。どうぞ皆様にお礼を申し上げます。

私たちは自らの意志で、勉強やスポーツに励むことを目的として金光学園に進

学しました。それぞれの夢を実現させるために精進し、一日一日を大切にすごして、充実した学園生活を送れるようにすることを誓います。

この先、大きな壁にぶつかかることもあると思いますが、学園の合言葉「人をたいてせつに、自分をたいてせつに、物をたいてせつに」を心にとどめ、先生方、家族、友人など多くの人に支えて頂きながら、乗り越えていきたいと願っています。

また、新型コロナウィルスの影響で、さまざまな行事がいろいろな規制の中、行われることが予想されますが、全員が高い志を掲げ、安心・安全に過ごせるよう、どうぞよろしくお願いします。

#### ◇教主金光様のおこぼ

皆さん、おめでとございます。今日も明日もあさっても、皆、今日今日になります。どうぞ、お世話になるすべてに礼をいう心をもって、今を大切に、今申されました願いに沿って勉強を進められ、おかげを頂かれますよう、祈ってやみません。

**なんでも相談室** 毎週水曜日は午前10時から午後5時まで第1相談室で開設され、学校カウンセラーがカウンセリング・

助言・支援を行っている。

**街頭交通指導** 4月6日から16日まで教員が通学路に立ち、交通安全・交通マナーについての指導を行った。

**検尿** 4月14・15日に検尿を実施した。  
**身体測定** 中学生は4月15日と19日に、高校生は5月26日にそれぞれ実施した。

**進路講演** 4月16日、高1はベネッセコーポレーションの乃月亮氏による「希望進路の実現のために」と題した講演を聴き、高校生としての学習の仕方、日々の過ごし方について学んだ。5月7日、高2は卒業生の目黒達之くんによる、進路実現を見据えた高校生の過ごし方、英語の勉強の仕方に関する体験談を交えた講演を聴き、感想文を書いた。

オリエンテーリングやビンゴ、クラス対抗長縄跳びを通して、互いの親睦を深めた。  
**心電図** 4月26日に中1、27日に高1を対象に実施した。高1は胸部X線撮影も行った。

**人権教育** 中1は4月27日、5月11日、18日の3回の人権教育を通して、自分の性格の捉え方やいじめの問題について学び、考えた。また、「ぼくたち私たちができること」と題した人権宣言を作成し、学年廊下に掲示した。

**避難訓練** 5月7日、全生徒・教職員を対象に避難訓練を行った。

**人権講演** 5月7日、高3はNPO法人ヒカリカナタ基金理事長の竹内昌彦先生による講演「私の歩んだ道と見えないから見えたもの」を聴き、笑いあり涙ありのお話の中から今後の人生への示唆を受けた。

**性教育** 中3は5月7日と6月1日に、男女交際や性感染症・避妊について学習した。中2は5月28日に性に関するアンケートに回答し、6月25日にアンケート結果・感想のまとめを見ながら、男女間の意見の相違を比較した。また、

「ホンネで話そう生と性」というDVDを視聴した。高2は7月9日に、公設国際貢献献体大学 助産師 内尾京子先生の「責任ある性」と題した講演を聴いた。

**教科担当者会議** 中学校において、日頃の授業の様子や中間テストの結果についての情報が交換され、個々のすぐれた点や改めたい点が指摘、検討された。

**耳鼻科検診** 6月10日に中1、11日に高1を対象に実施した。

**眼科検診** 6月10日に中1と中3、11日に高1と高3を対象に実施した。

**中3進路学習** 6月18日に進路課長の宰相裕一教諭から進路についての話を聴いた。

**学校説明会** 6月26日、金光学園の受験希望者と保護者を対象とした学校説明会が開催された。1限目は全学年対象の公開授業、10時から学校説明会を行った。  
**進路委員会** 7月5日・6日、高3学年団は学力の現状分析と今後の指導方針を検討した。

**一日入学Ⅰ** 7月25日に実施予定であった一日入学Ⅰは中止した。

**終業式** 新型コロナウイルス感染防止対策の観点から、当初の日程を前倒しし、

7月20日、中学生を対象に1学期終業式がオンラインで行われた。また、高校において同日を1学期終了日とした。

**お慶び** 戸田洋平先生には、4月29日に結婚、お慶び申し上げます。

**お悔やみ** 吉永敬子先生の御岳父には6月15日に吉森永枝先生の御母堂には7月6日にご逝去、謹んでお悔やみ申し上げます。



今年もコロナウイルスが収束することなく新学期が始まった。当たり前のように始まったが、今では「無事に新学期を迎えることができることに感謝」の気持ちでいっぱいだ。

コロナウイルスによって我々の日常ががらりと変わった。日常を奪われたという表現も耳にする。いつになったら日常を取り戻せるのか。今では、新しい生活様式もいろいろと提案されてきている。昔に戻るのではなく、先に進まなくてはいけないのだ。

以前、こんなことがあった。ある日、出勤しようと朝玄関を開けると、目の前の道路を小さな子供が母親と手をつないで歩いているのが見えた。そのとき、その子供が見ず知らずの私に向かって「おはようございます」と挨拶をしてくれた。私もすぐに「おはようございます」と返した。手をつないでいた母親もにっこりしていた。なんとも気持ちの良い朝だった。「これって、日常なのだろうか……」

ふと思った。いや、これは日常の中の「非日常」ではないか。最近こうした出来事が起きない。人と会う機会も減っているし、今は起きなくても不思議ではない。もしこれをコロナのせいにするのであれば、コロナは我々から非日常までも奪ってしまったとも言える。

最近では海外旅行にも行けない。「非日常」を楽しむことができないのである。新たな日常はいろいろと提案されているが、新たな「非日常」はあるのだろうか。オンラインで海外旅行に行った気分になる、ということか。もしそうなのであれば、昔の「非日常」をとり戻したい。

世の中、変わらなくてはいけないことと、変わってはいけないものがある。この新たな生活スタイルを模索していかなくてはいけないのかもしれないが、変えられない「非日常」とともに進んでいきたい。新たな日常の中にも大小さまざまな幸せはあるはずだ。扉を開けると「おはよう」と声をかけられる、そんな非日常が早く戻ってきてほしい。そう願う今日この頃である。

## 編集後記

縁あって、留学生レオ・ル・ドレフクんの授業を担当することになった。週に1時間、高校図書館で問題を解いてもらい、間違えた箇所を解説するという形で行っている。彼は向学心が強く、問題を真面目に解き、説明を聞きながらメモをとるのはもちろん、授業の冒頭では必ず一週間のうちで気になった表現について質問を「コット」という表現が飛び出した。よくよく確認すると、「アンティーク」のことだという。日本人顔負けの語彙力に舌を巻いたことを覚えておいて。およそ10分に及んだ対戦は結局、引き分けに終わった。

一方で、レオくんに接しながら、自分がかに何気なく言葉を遣っていたかを痛感させられた。慣用語やちよつとした助詞の用法を問われ、説明に困ったことも少なくない。その意味では、私も彼を通して日本語を教わっていたと言えるのかもしれない。

令和3年7月17日印刷  
7月26日発行

編集者

金光学園やつなみ保護者会  
やつなみ編集部

印刷所

倉敷市船穂町船穂二〇九五―一  
玉島活版所

発行所

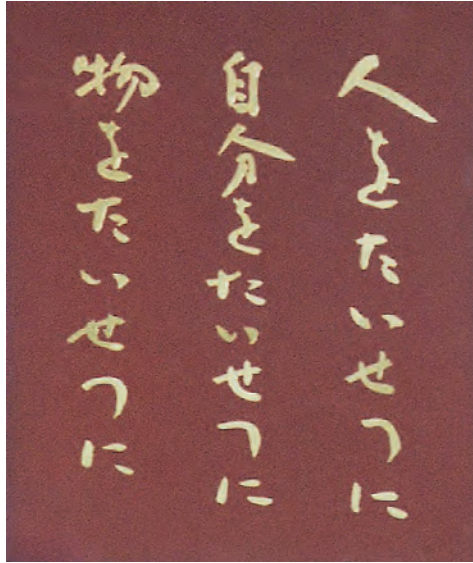
浅口市金光町古見新田一三五〇  
金光学園内  
金光学園やつなみ保護者会

## 中・新入生歓迎会



## 高1 一日旅行





◎ほつま = 秀真

非常に優れ整い備わっていることの意。

「日本という国」の古異名の一つ。

創立後、生徒会や冊子の名に使用。

ほつま体育館、ほつま祭などで使われる。

.....  
◎やつなみ = 八波

どこまでもひろがり栄えゆく願いをこめる。

金光教・学園・中学・高校の徽章のふちどり。

P T A機関誌創刊当時、会員から公募してつけた。

人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに

<http://www.konkougakuen.net>

E-mail [info@konkougakuen.net](mailto:info@konkougakuen.net)